設

特264
409

公教祈禱書

イエズス・キリスト降生一千九百三十五年

札幌教區
教皇代理ヴ
ンセスラウス・キノルド認可

昭和一〇年十二月二日

目錄

番		頁
1	朝の祈禱	一
2	主禱文	二
3	天使祝詞	三
4	使徒信經	三
5	告白の祈禱	四
6	信德誦	五
7	望德誦	五
8	愛德誦	六
9	天主の十誡	六
10	聖會の六の制令	七
11	イエズス聖名の連禱	八
12	御告の祈禱	一四
13	アレルヤの祈禱	一五
14	夕の祈禱	一六
15	聖マリアの連禱	二三
16	ミサの祈禱	二八
17	聖會の爲の祈禱	四一
18	ミサの後の祈禱	四三
19	ミサに與かるを得ざる時の祈禱	四四
20	告白前の祈禱	四六
21	告白後の祈禱	六二

22 聖體拜領前の祈禱……六四
23 聖體拜領後の祈禱……六七
24 キリストに向ふ熱き望……七三
25 十字架に磔れるイエズスに向ふ祈禱……七三
26 十字架の道行の祈禱……七四
27 ロザリオの祈禱……九一
28 朝目の覺めたる時の祈禱……九九
29 就業前の祈禱……九五
30 止業後の祈禱……九六
31 榮誦……九六
32 食前の祈禱……九七
33 食後の祈禱……九七
34 領告……九七
35 床に就く時の祈禱……九八
36 異教人の感化を求むる祈禱……九八
37 日本國民の感化を求むる祈禱……九九
38 父母の爲にする祈禱……一〇〇
39 子女の爲に父母の祈る文……一〇一
40 聖家族に對し奉つる祈禱……一〇二
41 聖體を訪ひ奉る時の祈禱……一〇三
42 聖體に對する聖トマの祈禱……一〇四
43 降福祭の間の祈禱……一〇五
44 聖體降福祭の時の領告……一〇八
45 願望の聖體拜領の祈禱……一〇九

46 イエズス受難の祈禱……一〇九
47 イエズスの聖心に向ひ奉る祈禱……一一〇
48 イエズスの聖心に家庭を獻げ奉る文……一一二
49 イエズスの聖心に日本公教會を奉獻する文……一一四
50 イエズスの聖心に人類を獻げ奉る文……一一六
51 聖心の侮辱を償ふ決心の祈禱……一一八
52 イエズスの聖心の連禱……一二〇
53 聖靈の降臨を望む祈禱……一二五
54 聖ベルナルド聖母に祈る文……一二六
55 聖アロイジオ聖母に祈る文……一二六
56 聖母の悲哀に對する祈禱……一二七
57 聖マリアに身を獻ぐる文……一二九
58 聖ヨゼフに祈る文……一三一
59 聖ヨゼフに向ふ祈禱……一三三
60 聖ヨゼフの連禱……一三三
61 守護の天使に對する祈禱……一三六
62 諸聖人の連禱……一三六
63 教皇の爲の祈禱……一四七
64 皇國の爲にする祈禱……一四八
65 聖職者を求むる祈禱……一四九
66 災難に遇ふ時の祈禱……一四九
67 死に臨める罪人の爲にする祈禱……一五一
68 完全なる痛悔の祈禱……一五一

69 洗禮の時の約束を尋ぎて
新にする祈禱……一五三
70 臨終の時の祈禱……一五六
71 病者の爲にする連禱……一六〇
72 靈魂、肉身を離れんとする時の祈禱一六五
73 臨終の連禱……一六八
74 靈魂、肉身を離れて後の祈禱……一七三
75 司祭、不在の時に於る葬式の祈禱……一七四
76 死人の爲にする祈禱……一七六
77 我に關係ある死者の爲の祈禱……一七六
78 死者の爲の祈禱……一七七
79 幼きイエズスを訪ひ奉る祈禱……一八一
80 新年の祈禱……一八三
81 御復活の祈禱……一八四
82 世界の王たるキストに對する祈禱一八五
83 天主の愛の連禱……一八六
附錄
死者の爲のミサの祈禱……一九〇
人類の忘恩に對する償の祈禱……二〇三
聖堂に出入する時の祈禱……二〇五

……終……

1 朝の祈禱

（全部の祈を誦へ得ざる時は ⊕印のあるもののみを誦ふ）

✝ 聖父と聖子と聖靈の聖名に由りて。アメン

⊕ 天主の尊前に出でて恭しく拜禮せん

三のペルソナにて在します最も尊き唯一の天主、今主の此處に座すことを信じ、謹み敬ひて拜禮し、主の無上なる稜威に對して、盡くすべき尊敬を呈し奉つる。

⊕ 天主に恩惠を感謝し、身命を獻げん

主の今まで我に賜ひし諸々の恩惠を感謝し奉つる。我の生き存へて今日に至れるは、實に主の賚賜なれば、此の日を以て全く主に事へ、凡て思想をも、言葉をも、行爲をも苦樂をも悉く主に獻げ奉つる。願はくは凡そ此等の物をして、主を愛するの精神を以て働かしめ、一に主の光榮とならしむるやうに聖寵を垂れ給へ。

㊐ 罪を避け、德を修むる志しを立てん

崇むべきイエズス、主は我等の達せんと努むべき完德の龜鑑にて在しませば、我專ら主に倣ひて、柔和、謙遜、貞操、熱心、堪忍、仁慈等を體し、殊に今まで屢々犯したる罪を、今日再び犯さざらんことを努め、之を改むるに力を盡くさんことを只管に冀ふ。

我等に必要なる恩惠を天主に願はん

主は我が弱き事を知り給ふ。聖寵に依らざれば何事も叶はざるが故に、必要に應じて之を施し給へ。總べて戒め給ふ惡を避け、命じ給ふ善を行ひ、御攝理に因りて我に臨む諸々の苦難を、甘んじて堪へ忍ぶ力を授け給へ。

2 ㊐ 主禱文

天に在す我等の父よ、願くは御名の尊まれん事を、御國の格らん事を、聖旨の天に行はるる如く地にも行はれん事を。我等の日用の糧を今日我等に與へ給へ。我等が人に赦す

如く我等の罪を赦し給へ。我等を誘試に引き給はざれ、我等を惡より援ひ給へ。アメン。

3 ㊐ 天使祝詞

慶たし聖寵充ち滿てるマリア、主、爾と共に在します。爾は女の中にて祝せらる。又御胎の御子イエズス祝せられ給ふ。天主の御母聖マリア、罪人なる我等のために、今も臨終の時も祈り給へ。アメン。

4 使徒信經

我は天地の創造主、全能の父なる天主を信ず、又其の御獨子、我等の主耶蘇基督、即ち聖靈に由て孕り、童貞マリアより生れ、ポンシオ・ピラトの管下にて苦を受け、十字架に附られ、死して葬られ、古聖所に降りて三日目に死者の中より蘇り、天に昇りて全能の父なる天主の右に座し、彼處より生る人と死せる人を審かん爲に來り給ふ主を信ず。我は聖靈、聖公會、諸聖人の通功、罪の赦、肉身の復活、終なき生命を信じ奉つる。アメン。

5 告白の祈禱

全能の天主、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人に向ひて告白し奉つる。我は思と言葉と行爲を以て多くの罪を犯せり。▲これ我が過なり。我が過なり。我がいと大いなる過なり。是に由りて終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人に、我のため主なる我等の神に祈られんことを願ひ奉つる。

願はくは全能の天主、我等を憐み、我等の罪を赦して終なき生命へ導き給へ。▲アメン。

願はくは全能にして慈悲なる主、我等の罪を憐み、其の赦免を與へ給へ。▲アメン。

聖母並びに守護の天使と保護の聖人に代禱を乞はん

天主の御母に在して亦我が母、我が保護者にます童貞聖マリア、我御蔭に依靠りて御保護を願ひ、偏に御哀憐に此の身を托せ奉つる。▲仁慈の御母、我が危きに迫れる時には逃避所となり、我が苦に遭ふ時には慰藉となり、今日、毎日、殊に臨終の時、天主なる御子の尊前にて我が爲に代禱者となり給へ。

忠實、親愛なる我が守護の天使、▲我をして御奬に從ひ、且天主の誡に外れざらしめん爲に、我が足の運を導き給へ。

我が戴ける靈名の聖人、▲地に於いては御跡にならひて天主を愛し、天に於いては共に終りなく天主を讃美するを得んために、我を守り且我がために祈り給へ。

6 信德誦

眞理の源なる天主、▲主は僞る能はざる者に在すが故に、我は主が聖公會に垂れて我等を諭し給へる教を悉く信じ奉つる。

7 望德誦

至善なる天主、▲主は約束を違へさせ給はざる故、救世主耶蘇基督の功德に因て、其の

約束の如く、我に終なき生命と、之を得べき聖寵とを必ず與へ給はん事を望み奉つる。

8 愛徳誦

愛の源なる天主、主は限りなく善にして又限りなく愛すべき者と在すに因り、我心を盡くし、力を盡くして深く愛し奉つる。又主を愛するがために、他人をも我が身の如く愛せんことを努め奉つる。

9 天主の十誡

第一　我は主なる汝の神なり、我の外汝に神あるべからず。
第二　汝、主なる汝の神の名を濫りに呼ぶ勿れ。
第三　汝、安息日を聖日とすべきことを憶ゆべし。
第四　汝、父母を敬ふべし。
第五　汝、殺す勿れ。

第六　汝、姦淫する勿れ。
第七　汝、盗む勿れ。
第八　汝、僞證する勿れ。
第九　汝、人の妻を慾ふる勿れ。
第十　汝、人の所有物を貪る勿れ。

10 聖會の六つの制令

第一　守るべき祝日を聖日とすべし。
第二　主日と祝日には謹んでミサを聽くべし。
第三　少くとも年に一度は必ず告白すべし。
第四　少くとも年に一度は御復活日の頃に聖體を受くべし。
第五　聖會の定めたる期日に大齋すべし。
第六　金曜日及び其の他定めたる期日に小齋すべし。

11 イエズス聖名の連禱

主、憐み給へ。
▲キリスト、憐み給へ。
主、憐み給へ。
イエズス、我等に聽き給へ。
▲イエズス、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
天主たる御父　同じく我等を憐み給へ。
世の贖ひ主たり天主たる御子　同じく
天主たる聖靈　同じく
一天主なる聖三位　同じく
活ける神の御子なるイエズス　同じく
御父の光輝なるイエズス　同じく

永遠の光明なるイエズス　同じく
光榮の王なるイエズス　同じく
正義の太陽なるイエズス　同じく
童貞マリアの御子イエズス　同じく
愛すべきイエズス　同じく
感ずべきイエズス　同じく
大能の神なるイエズス　同じく
來世の父なるイエズス　同じく
大猷の使者なるイエズス　同じく
最も權力あるイエズス　同じく
最も堪忍なるイエズス　同じく
最も從順なるイエズス　同じく

心の柔和、謙遜なるイエズス　同
貞操を嘉するイエズス　同
我等を愛するイエズス　同
安和の神なるイエズス　同
生命の源なるイエズス　同
善德の模範なるイエズス　同
人々の靈魂を深く愛し給ふ者なるイエズス　同
我等の神なるイエズス　同
我等の依り賴む所なるイエズス　同
貧しき者の父なるイエズス　同
信者の寶なるイエズス　同
善き牧者なるイエズス　同

我等を憐み給へ。

眞の光なるイエズス　同
永遠の智なるイエズス　同
限りなき良善なるイエズス　同
我等の道と生命なるイエズス　同
天使の歡喜なるイエズス　同
太祖の王なるイエズス　同
使徒の師なるイエズス　同
福音史家の師なるイエズス　同
殉教者の力なるイエズス　同
證聖者の明なるイエズス　同
童貞者の清淨を護るイエズス　同
諸聖人の冠なるイエズス　同

哀憐を垂れて
哀憐を垂れて
總べての惡より
總べての罪より
御怒より
魔鬼の圈套より
邪淫の心より
終りなき死より
御勸奬を蔑如にするより
聖なる御托身の妙理によりて
御誕生によりて
御幼年によりて

イエズス、我等を赦し給へ。
イエズス、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
イエズス、我等を援ひ給へ。
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

最神妙なる御生活によりて
御勞苦によりて
御死苦と御受難によりて
主の十字架と遺棄とによりて
御疲勞によりて
御死去と御殯葬によりて
御復活によりて
御昇天によりて
聖體の御制定によりて
御歡喜によりて
御光榮によりて
世の罪を除き給ふ神の羔

同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

イエズス、我等を赦し給へ。

世の罪を除き給ふ神の羔
世の罪を除き給ふ神の羔
イエズス、我等に聽き給へ
祈願せん。主イエズス・キリスト、御言葉に「汝等求めよ、然らば與へられん。尋ねよ、然らば遇はん。叩けよ、然らば啓かれん」とあり。求むらくは願ひ奉つるところの我等をして、主の最も神妙なる愛に感じ、專ら心と言葉と行爲を以て主を愛し、絶えず讃美するを得せしめ給へ。嗚呼、永遠に活き且統べ給ふ主なる哉。アメン。

12 御告の祈禱

（朝、晝、夕に當り跪づきて之を誦ふ
但し日曜日は其前晩より立ちて誦ふ）

主の使の告ありければ、マリアは聖靈に因りて懷胎し給へり。
天使祝詞　一遍
我は主の婢なり、仰せの如く我になれかし。
イエズス、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
イエズス、我等を憐み給へ。
イエズス、我等の祈禱を聽き容れ給へ。

而して言葉は肉となり給ひ、我等の中に住み給へり。
天使祝詞　一遍
天主の聖母、我等の爲に祈り給へ。キリストの約束に我等を協はしめ給へ。
祈願せん。主よ、我等天使の告を以て御子キリストの御托身を知りたれば、願はくは其の苦難と十字架とに由りて、遂に其の復活の光榮に達せしめん爲、我等の心に聖寵を注ぎ給へ。我等の主キリストに由りて。アメン。

13 アレルヤの祈禱

（御復活日の前晩より三位一體の祝日の前日の晝まで御告の祈りに代へて立ちてこれを誦ふ）

天の元后喜び給へ、アレルヤ。
御身に投胎り給ひし者は、アレルヤ。
宣へる如く甦へり給へり、アレルヤ。

我等の爲に天主に祈り給へ、アレルヤ。
童貞マリア喜び給へ、樂しみ給へ、アレルヤ。
主、眞に甦へり給ひたればなり、アレルヤ。
祈願せん。御子イエズス・キリストの復活を以て世界を喜ばせ給ひし天主、願はくは其の御母童貞マリアに因りて、終りなき生命の歡喜を我等に得せしめたまへ。我等の主キリストに由りて。℟アメン。

14 夕の祈禱

（全部の祈を誦へ得ざる時は ⊞印のあるもののみを誦ふ）

✝ 聖父と聖子と聖靈の御名に由りて。アメン。

⊞ 天主の尊前に出でて恭しく拜禮せん

嗚呼天主、主の無上なる稜威に感じ、謙遜の心を以て謹んで拜し奉つる。℟主は極めて眞なる者にて在ませば、我深く主を信じ奉つる。至つて善なる者にて在ませば、我厚く主を賴み奉つる。限りなく愛すべき者にて在ませば、我心を盡くして主を愛し奉つる。且我は主を愛するよりして、他人をも亦我が身の如く愛することを務め奉つる。

⊞ 天主の恩惠を感謝せん

天主の我に與へ給ひし恩惠を、如何にして報い奉つらんや。主は無始より我を愛し、無より我を造り出し、御子の血を以て我を贖ひ、日々に數々の惠を下し給ふ。℟願はくは諸々の天使、聖人我と共に斯く卑しき我を惠み給ふ、哀憐深き天主を讃美せん事を。

罪を辨へ知るの恩惠を天主に願はん

光の永遠の源にて在ます聖靈、我が心の暗を照らし、今日犯したる罪と其の汚穢とを辨へ知りて、主の之を嫌ひ給ふ如く我も嫌ひ、且何事よりも罪を犯す事を痛く惧るるを得せしめ給へ。

今日犯したる罪を吟味せん

天主に對して、祈禱を怠り、若しくは忽せにし、聖堂に於いて不敬を爲し、祈禱の時放肆に心を散らし、聖寵の勤奬に背き、故なく人を憚りて信仰の勤を怠り、天主の御攝理を呟き、依賴むの心を失ひて天主に托せざる等の事なかりしや。

他人に對して、邪推、輕蔑、憎惡、怨恨、嫉妬、復讐、憤怒、喧嘩、口論、呪詛、凌辱、誹謗、讒言、嘲弄等をなし、人の財産を傷ひ、名譽を害し、惡しき例となりて人を躓かせ、敬ふべき人を敬はず、正しき命令に從はず、仁愛に悖り、善を勸むるを怠り、忠實を盡くさざる等の事なかりしや。

己に對して、傲慢を起し、陽を飾り、思、望、言葉、行爲などを以て清淨を損ひ、柔和を失ひ、懶惰に流れて空しく時を費し、職務を怠り、飲食の度を過す等のことなかりしや。——

痛悔の祈禱

嗚呼天主、我主の限りなく嫌ひ給ふ罪を以て、限りなく愛すべき父に背きしを深く悔み奉つる。御子耶蘇基督の流し給へる御血の功德に因りて、我が罪を赦し給へ。聖寵の扶助を以て今より心を改め、再び罪を犯して聖意に背く事あるまじと決心し奉つる。

主禱文

天に在す我等の父よ、願くは御名の尊まれん事を、御國の格らん事を、聖旨の天に行はるる如く地にも行はれん事を。我等の日用の糧を今日我等に與へ給へ。我等が人に赦す如く我等の罪を赦し給へ。我等を誘試に引き給はざれ、我等を惡より救ひ給へ。アメン。

天使祝詞

慶たし聖寵充ち滿てるマリア、主、爾と共に在します、爾は女の中にて祝せらる。又御胎の御子イエズス祝せられ給ふ。天主の御母聖マリア、罪人なる我等のために、今も臨終の時も祈り給へ。アメン。

使徒信經

我は天地の創造主、全能の父なる天主を信ず、又其の御獨子、我等の主耶蘇基督、即ち聖靈に依て孕り、童貞マリアより生れ、ポンショ・ピラトの管下にて苦を受け、十字架に附られ、死して葬られ、古聖所に降りて三日目に死者の中より蘇り、天に昇りて全能の父なる天主の右に座し、彼處より生る人と死せる人を審かん爲に來り給ふ主を信ず。▲我は聖靈、聖公會、諸聖人の通功、罪の赦、肉身の復活、終なき生命を信じ奉つる。アメン。

告白の祈禱

全能の天主、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人に向ひて告白し奉つる。我は思と言葉と行爲を以て多くの罪を犯せり、▲これ我が過なり、我が過なり。我がいと大いなる過なり。是に由りて終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人

に、我のため主なる我等の神に祈られんことを願ひ奉つる。願はくは全能の天主、我等の罪を赦して終なき生命へ導き給へ。▲アメン。願はくは全能にして慈悲なる主、我等の罪を憐み、其の赦免を與へ給へ。▲アメン。

天主、聖母及び天使、聖人に身を托する祈禱

嗚呼天主、我更に善く主に事へん爲に、今暫く寢みて我が力を補はんと欲す。▲願はくは我が寢むを祝し給へ。又我が依托む所なる聖母、守護の天使、保護の聖人、我が爲に祈り、今夜、生涯、殊に臨終の時我を護り給へ。アメン。

生ける人と死せる人との爲に祈らん

主、願はくは我が親族、恩人、朋友又我に仇する者に迄も恩惠を垂れ給へ。▲又我等の靈魂を司どる人々と、肉身を司どる人々を祐け給へ。貧しき者、禍災に遭ふ者、囚人、旅人、病める者及び死に臨める者を憐み給へ。異端、異教の人々を眞の道に歸らしめ、

また煉獄に苦しむ靈魂に哀憐を下し、殊に我等に縁ある者の靈魂に、終りなき歡樂を與へ給へ。

15 聖マリアの連禱

主、憐み給へ。
▲キリスト、憐み給へ。
主、憐み給へ。
キリスト、我等に聽き給へ。
▲キリスト、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
天主たる御父　我等を憐み給へ。
世の贖ひ主たり天主たる御子　同
天主たる聖靈　同
一天主なる聖三位　同

聖マリア　同
天主の聖母　同
童貞の中にて最も聖なる童貞　同
キリストの御母　同
天主の聖寵の御母　同
最潔よき御母　同
最貞操なる御母　同
終生童貞なる御母　同
玷なき御母　同
愛すべき御母　同
感ずべき御母　同
良き訓誨の御母　同

我等の爲に祈り給へ。

創造主の御母　同じく
救主の御母　同じく
最謹慎深き童貞　同じく
敬ふべき童貞　同じく
譽むべき童貞　同じく
權力ある童貞　同じく
寛仁なる童貞　同じく
忠信なる童貞　同じく
正義の鑑　同じく
上智の座　同じく
我等が歡喜の源　同じく
靈妙なる器　同じく

我等の爲に祈り給へ。

崇むべき器　同じく
信心の勝れたる器　同じく
奇しき玫瑰花　同じく
ダヴィドの塔　同じく
象牙の塔　同じく
黄金の堂　同じく
契約の櫃　同じく
天の門　同じく
曉の星　同じく
病人の快復　同じく
罪人の依托　同じく
憂人の慰藉　同じく

聖マリアの連禱

キリスト信者の扶助
天使の元后
太祖の元后
豫言者の元后
使徒の元后
殉教者の元后
證聖者の元后
童貞者の元后
諸聖人の元后
原罪なくして孕りし元后
最尊きロザリオの元后
平和の元后

我等の爲に祈り給へ。
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

世の罪を除き給ふ神の羔
世の罪を除き給ふ神の羔
世の罪を除き給ふ神の羔
天主の聖母、我等の爲に祈り給へ

安和を求むる祈禱

主よ、願はくは此の住所を顧み、仇の圈套を遠ざけ給へ。また主の使を此の住所に降し、安和に我等を守らしめ、主の恩惠を毎も我等の上に在らしめ給はんことを、我等の主キリストに因りて願ひ奉つる。アメン。

諸聖人に向ふ祈禱

天堂の永福を獲たる潔き靈魂たちよ。我等の神なる御父に祈り、我等に大罪を免れしめ、主の御意に協ふを得せしめ給へ。アメン。

主、我等を赦し給へ。
主、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
我等を憐み給へ。
キリストの約束に我等を協はしめ給へ。

16 ミサの祈禱

ミサに與かる時の心得

ミサ聖祭は、主イエズス・キリストが御受難、御死去の紀念として、其の功德を人間に施さんが爲に親ら定め給ひし祭なれば、最も天主の御意に適ひ且最も我等の靈魂に益あるものなり。されば天主に拜禮を盡し、感謝を奉つり、罪を贖はれ、御惠を蒙らんには、ミサに若くものなし。然れども其の益を得んには信仰を厚うし、罪を悔い悛め、又萬事に愼むことを甚だ必要とす。蓋は五官に觸れざるも、イエズスはミサの時祭壇に天降り給ひ、其の眞の御體と御血は麵麭と葡萄酒の形と色に籠りて世の爲に犧牲となり、人々の靈魂の糧となるに因りてなり。故に視聽を正しくし、他事に心を移さず、專らイエズス・キリストを念じ、恰もカルワリオ山にて十字架の傍にありて、救世主の苦難を仰ぎ見るが如き心を以て之に與かるべし。尙ミサの中の大切なる部分に與かることを缺くべからず。又假令ミサの間、司祭の誦ふる祈禱と行ふ式の意味を曉る能はずとも、聖會及び司祭の爲すがまま之に同じうすること最も肝要なり。

ミサに與かる前の祈禱

主、イエズス・キリスト、我若しカルワリオ山にて主の御苦難を見まうさば、我が腸哀傷のために斷ゆべし。今此の祭壇にて行はんとする祭は、十字架の上にて獻げ給ひし犧牲と異ならざるものなれば、我をして之に適ふべき思を起し、罪の赦免を得、御意に從はしめ、且主の我等に向ひて、茲に復新に示し給へる御苦難、御死去の功德を蒙らしめ給はんことを願ひ奉つる。

ミサの始まる時の祈禱

十 聖父と聖子と聖靈の御名に由りて。アメン。

最も尊き三位一の天主、我主の御名に向ひて拜禮を盡し、感謝を獻げ、罪の赦と主の惠を求めん爲、茲に謹んでミサ聖祭に與かり奉つる。願はくは我をして司祭と心を合はせて救靈の犧牲を獻げしめ給へ。且我等の爲にカルワリオにて御血を流し、苦難を受け

給ふを仰ぎ視たる時に、我等の必ず起したらん如き情を今茲に起さしめ給へ。アメン。

司祭、祭壇に昇り右の方に就きて入祭文を讀む時の祈禱

萬物の創造主にて在します天主、主に造られたる人々を憐み給へ。
慈悲深き父よ、子たる我等の罪を赦し給へ。
我等の爲に死に給ひし救世主、御苦難の功德を我等に得せしめ給へ。
人を聖ならしめ給ふ聖靈、我等の心を潔め、愛熱を燃させ、我等を聖ならしめ給へ。

榮光の聖歌　（黑色又は紫色の祭服を用ひる時は之を誦へず）

天に於いては天主に榮光あれ、地に於いては善意の人に平安あれ。主なる天主、天の王、全能の父、我等主を稱へ、主を崇め、主の光榮の大いなるが爲に謹んで感謝し奉つる。拜すべきイエズス、御父の獨子、萬物の主なる神、世を潔めん爲に天主より遣はされし羔、我等を憐み、御慈悲の眼を天より垂れ給へ。主に非ざれば、我等を救ひ得る者

なきに因り、乞ひ願はくは我等を救ひ給へ。そは主唯ひとり、父の榮光の中に聖靈と共に至聖、全能にして、限りなく拜すべき者に在せばなり。

司祭、祭壇の右の方に就きて集禱文を誦へ、又書翰を讀む時の祈禱

全能の天主、聖母マリア及び今日祝ふ聖人の代禱を聽し召して、司祭の求むる恩寵を施し給へ。我、司祭と心を合はせて、我がため並びに我と關係ある人々の爲に祈り奉つる。願はくは終りなき生命に至らしめんため、必要の恩寵を我等に與へ給へ。我等の主キリストに由りて。アメン。

慈悲深き天主、御教訓を知らざる多くの人々の中より、我等を選みて聖教を示し給ひたれば、我、心の底より喜んで之を承けたてまつる。豫言者及び使徒の口を以て傳へられたる御教訓を守り、愼みて之を完うせんと欲す。乞ひ願はくは、古への聖人のごとく主に事へ、聖祖のごとく主を奉じ、豫言者のごとく主を識り、使徒のごとく主を愛し、

專ら御跡を慕はしめ給へ。

司祭、祭壇の左の方に就きて福音を讀む時の祈禱

主よ、今司祭の讀みあぐる文は、豫言者及び使徒の言葉に非ずして、實はイエズス・キリストの御言葉と御行爲なることを信じ奉つる。假令主の言葉なりと信ずるも、之に從はざれば何の益かあらん。また信あるも愛と善業の功績なくば、主の裁判の前にいかでか罪を免るべき。我いま御言葉を厚く信じ奉つるが故に、我が仕業の御言葉に協はざりしを責め給ふ無く、却つて我が信ずるところを行ふ力を我に與へ給へ。即ちこれ主の御榮光なればなり。

使徒信經

我は天地の創造主、全能の父なる天主を信ず。また其の御獨子、我等の主イエズス・キリスト、即ち聖靈に由りて孕り、童貞マリアより生れ、ポンシオ・ピラトの管下にて苦難を受け、十字架に附けられ、死して葬られ、古聖所に降りて三日目に死者の中より復活り、天に昇りて全能の父なる天主の右に座し、彼處より生ける人と死せる人を審かんために來り給ふ主を信ず。我は聖靈、聖公會、諸聖人の通功、罪の赦免、肉身の復活、終りなき生命を信じ奉つる。アメン。

司祭、麵麭と葡萄酒を獻ぐる時の祈禱

限りなく聖なる御父、全能にて在します天主、我みづからは尊前に出づる能はざる者なれども、我が救主イエズス・キリストが、此の祭を定め給ひし時の聖旨と、今我が爲に犧牲となりて、自己を獻げ給へる聖旨に隨ひ、敢へて司祭の手を以て麵麭と葡萄酒の供物を獻げ、主の萬物の主宰にて在しますことを稱へ、我が罪を贖はれんことを求め、總べて主の賜物なる恩惠を感謝し奉つる。

又、われらは罪人にて救はるるに足らざれども、宥の犧牲とならせ給へるイエズスの

功績に因りて施し給ふ救靈の恩惠を、我が身の爲、及び我が親族、恩人、友人、仇敵の爲にも乞ひ願ひ奉つる。▲また聖公會のため、教皇のため、本教區の司教、並びに總べて靈魂を牧する人々のため、且帝王のため、及び主を信ずる民のために、此の尊き犧牲を獻げて祈り奉つる。

主よ、願はくは死せる信者の靈魂を憐み、御子イエズスの功績に由りて、彼等に終りなき安樂を與へ給へ。▲慈悲深き御父よ、此の國の上に恩惠を注ぎ給へ。主を憎む者をも棄て給はざれ。主を知らざる者、主を信ずるも眞の教會に入らざる者、及び凡ての罪人を救靈の道へ導き給へ。又我等を憎みて害を加へんとする者にも恩惠を以て報い給へ。我の彼等に赦す如く、我が罪を赦し給へ。アメン。

司祭、祭壇の中央に立ち聲を揚げて序誦を誦ふる時の祈禱

天使と人との王なる我が救主の格り給ふべき時近づけり。主願はくは我が心に聖靈を

滿たし、世を離れて專ら主のことをのみ思はしめ給へ。▲嗚呼、全能の御父、永遠の天主は何れの時にても何れの處にても、常に感謝し讃美すべきかな。我等の主、イエズス・キリストに由て天使は主の尊前に拜禮し、聖人は主を讃美す。今や我等が卑しき聲をも之に合はせて讃美するを許し給へば、我等歡喜に堪へずして歌はん。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、萬軍の神なる主、主の光榮は天地に充ち滿てり。▲天の最上なる處にいます者は尊まれさせ給へ。主の名に由りて來れる者は祝せられさせ給へ。

司祭、典文を讀む時の祈禱

哀憐深き父よ、今獻ぐる所の祭を祝し、御意に適はしめ給ひて聖公會を守り、教皇、司教及び凡ての奉教人を惠み給はん事を、御子キリストに由りて願ひ奉つる。▲別けても此處に集れる人々及び目上、親族、恩人、友人、また我等に祈らんことを求むる人々を

顧み給へ。我が主イエズス・キリストの御母、終生童貞なる聖マリア、使徒、殉教者、聖人等と心を合はせて、我等此の祭の御意に適ふ者とならんことを願ひ奉つる。

司祭、麵麭と葡萄酒に掩手する時の祈禱

主よ、願はくは古の聖人が、救世主を望み奉つりし熱心を我が心に充て、其の信仰と愛を我に感ぜしめ給へ。主イエズス・キリスト、來り給へ。救世主來りて、其の諸々の奇蹟を總括せる妙理を成し給へ。

神の羔、世の罪惡を贖へる尊き犧牲は、いま此の祭壇に臨み給ふ。嗚呼、ありがたき仁慈なるかな。

司祭、聖體を奉擧する時の祈禱

救主イエズス・キリスト、一切の人を救はん爲に、十字架に釘つけられ給へる御體を謹みて拜し奉つる。

救主イエズス・キリスト、一切の人を救はん爲に、十字架の上にて流し給へる御血を謹みて拜し奉つる。

聖體奉擧後の祈禱

全能なる天主、主は此の聖式を以て、イエズス・キリストの御受難の苦、及び御復活の光榮を我等に追懷せしめ、我等のために傷つけられ給へる其の御體と、流させ給へるその御血をば、今現に之を祭壇の上に供へ給へり。我之を見奉つれば、いかんぞ御惠を忘れて、再び主に背くことを肯てせんや。主の自ら我等に與へ給へる、此の尊く潔よき犧牲を、今謹んで尊前に獻げ奉つる。古への祭は悉く此の犧牲に象どりたるものにて、此の犧牲獨り、善く御心に適ふ御子イエズス・キリストの御體と御血なれば、之を承けて此の聖祭に與かる人々に、其の功德を蒙らしめ給へ。又聖會と心を同じくして死せる信者の靈魂を惠み、殊更我等に關係ある者に、此の尊き犧牲に因て其の苦を逃れしめ、

終りなき安樂を得せしめ給へ。哀憐深き父、罪人なる我等にも此の恩惠を施して、終に主の使徒、殉教者、諸聖人達と共に住み、共に終りなく主を愛し、且、讃美することを得せしめ給へ。

司祭、主禱文を誦ふる時の祈禱

嗚呼天主、主の我が父にて在しますことを思へば、誠に幸福なるかな、父の在します天堂の、我が住所となるべきことを考ふれば、誠に嬉しきかな。願はくは御名の地上に尊まれ、諸々の人の心と意思の主に治められんことを。主の子なる我等に靈魂と肉身の糧を與へ給へ。我等が誠心より人に赦すごとく、我等の罪をも赦し給へ。誘惑と世俗の禍害ある時に我等を助け、殊に最も恐るべき罪より援ひ給へ。アメン。

司祭、神羔誦を誦ふる時の祈禱

愛に由りて自ら犧牲となり給ふ神の羔、我等を憐み給へ。

我が救靈の犧牲、我等を救ひ給へ。

天主の震怒を和げ給ふ救主、御父の尊前に恩惠を得させ、我等に平安を施し給へ。

聖體を領くるを望む祈禱

救主イエズス・キリスト、聖體を以て辱けなくも靈魂の糧となり給ひて、之を授かる人は永遠の生命を有し、主に止まり、主も亦之に止まり給ふとの聖言に依り、我も不肖ながら、御血肉を授かることを深く望み奉つる。願はくは聖寵を垂れて我が心に臨み、司祭に與へ給ふ恩惠を我にも及ぼし給へ。主よ、我が望を見行し、我を潔めて早く主を受くるに堪ふる者とならしめ給へ。また聖體の功德に出りて信仰を强め、望德を增し、愛を以て我が心を燃し、純ら主の爲に生き存へて力を盡くすことを得せしめ給へ。

司祭、祭壇の右の方に就きて聖體領後文を讀む時の祈禱

主は我等を救はんがために犧牲となり給ひたれば、我も主の光榮の爲にみづから犧牲

とならんと欲し、聖旨のままに我が身を獻げたてまつる。主の御掟に依りて來るべき苦難を甘んじ受け、主の之に克ち給ひし如く、我も同じく之に克たんと欲す。今ミサの祭に由りて我が心の潔められしを辱けなく思ひ、我が微少の罪をも罪の傾向をも、主の除き給はんことを乞ひ願ふ。又誓つて主の誡を守り、之に背かんよりは寧ろ我が凡ての所有物を失ひ、如何なる苦難にも服せんと決心し奉つる。

掩祝の時の祈禱　（黒色の祭服を用ひる時は之を除く）

主よ、司祭の手を以てわれらの決心を祝し、掩祝の好果を常にわれらの上にあらしめたまへ。

✝ 聖父と聖子と聖靈の御名に由りて。アメン。

司祭、祭壇の左の方に立ちて終の福音を讀む時の祈禱

聖なる言葉にて在ます天主御子、主は天の道を示さん爲に天降れる光にますを、世は主の眞の救主なるを信ぜず、また主の惠に由りて天主の子となるを好まずして、却つて惡魔の奴隷となることを善しと爲たりし。願はくは我等をして彼等と同じからざらしめ給へ。主は我等を救はん爲に人となり給へる天主にて在しませば、我これを信じて偏に依り賴み奉つる。我等が潔められて天堂に昇り、永遠に主と共に在るを得んために、要する聖寵を饒かに與へ給へ。アメン。

17　聖會の爲の祈禱

（教皇の命に由りて讀誦ミサの後に誦ふ）

天使祝詞

三遍

慶たし聖寵充ち滿てるマリア、主、爾と共に在します。爾は女の中にて祝せらる。又御胎の御子イエズス祝せられ給ふ。天主の御母聖マリア、罪人なる我等のために、今も臨終の時も祈り給へ。アメン。

元后哀憐の母、我等の生命、歡樂及び依賴なるマリア、逐謫の身なるエワの子我等、爾に向ひて呼ばはり、此の涙の谷に泣き叫びて只管仰ぎ望み奉つる。▲嗚呼、我等の代願者よ、哀憐の御眼もて我等を顧み給へ。また此の逐謫の終らん後、尊き御子イエズスを我等に示し給へ。寛仁、哀憐、甘味なる童貞マリア。

天主の聖母、我等の爲に祈り給へ。▲キリストの約束に我等を協はしめ給へ。

祈願せん

我等の依托と能力にて在します天主、哀憐を垂れ、主に叫ぶ此の民をかへりみ給へ。永福にて原罪なき童貞、天主の聖母マリア、其の淨配聖ヨゼフ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人達の傳達に由りて、罪人は改心し、母なる聖會は自由と光榮を得んことを偏に祈り奉つる。願はくは我等の主イエズス・キリストに因りて、慈悲を以て此の事を聽き容れ給へ。アメン。

大天使聖ミカエル、戰鬪の中にわれらを助け、魔鬼の兇惡と謀計に克たしめたまへ。天主の彼に命を下し給はんことを伏して願ひ奉つる。嗚呼、天軍の總督、靈魂を傷はんとて此の世を徘徊する惡鬼、及び其の他の惡魔を、天主の功力に由りて地獄へ閉ぢ込め給へ。▲アメン。

18 ミサの後の祈禱

嗚呼、天主、我を多くの人の中より選みて、ミサの祭を拜せしめ給ひし惠を深く謝し奉つる。▲我が拙く卑しき身を以て主の尊前に犯したる罪を幸ひに赦し、此の祭の功德を以て既往の心を潔め、將來の心を堅固ならしめ給へ。我いま主の聖旨のまにまに、業に就かんとするに當り、其の既に蒙りたる恩惠を終日わすれず、聖祭の功德を永く失はざらん爲、思念も希望も言葉も行爲も、總べて愼まんと決心す。仰ぎ願はくは此の恩惠を下し給へ。アメン。

19 ミサに與かるを得ざる時の祈禱

救ひ主イエズス・キリスト、主は此の世に天降りて人となり、三十三年の間、貧困、謙遜、堪忍等の諸德を修め、自ら模範となりて天の道を敎へ、また世の罪を贖はん爲に無量の苦難を冒し、終に十字架の上に御生命を棄て給へり。嗚呼、深い哉、主の仁慈。嗚呼、厚い哉、主の哀憐。主は此の世を去らんとする前の日に、十二人の使徒達と共に晩餐を行ひ、いと妙なる恩惠を垂れ給へり。其の時自ら麵麭を取り、全能の父を仰ぎ、麵麭を祝してこれを劈き、使徒に與へて宣はく、「受けて之を食せよ、これ汝等のために交すところの我が體なり」と、次に爵を取り、これを祝して使徒に與へて宣はく、「汝等皆受けて之を飲め、これ汝等と人々の罪を赦されん爲に、流さるる新約の我が血なり。汝等、我が紀念として之を行へ」と。

斯くて麵麭と葡萄酒の形と色の中に、主の御血と御體と御靈魂等、總べて天主の尊き

性を遺して、自らミサの祭を立て給へり。故に主は今聖祭の中に天降り、我等と共に在しまして、我等の靈魂の糧となり、御苦難と御死去の功德を偏く施し給ふ。しかのみならず、聖祭の中に極めて尊き犧牲となりて、我等に罪の赦免を與へ、天主なる御父に呈すべき拜禮、謝恩、恭敬等の行を我等に盡くさしめ給ふ。

嗚呼、ミサの祭に與かる者は、斯くの如き恩惠を受く。豈無上の幸福ならずや。我今此の幸福を望みて限りなき御惠を求め奉つる。聖マリア、使徒聖ヨハネ、聖マグダレナ等が、カルワリオ山に主の御死去を見て功德を蒙りし如く、ミサに與かるものも亦主の御苦難と御死去を紀念し、等しく其の功德を蒙るを得るなり。われ此の妙なる恩惠を受けん爲にとて、別に爲すべき所あらざれば、唯深く之を仰ぎ望み、謹みて主の御苦難と御死去を追懷し奉つる。我いま眼前御血と御體の聖祭に與かる能はざれども、其の功德を施し給はんことを偏に乞ひ願ひ奉つる。アメン。

救世主イエズス・キリスト、我、主の御苦難と御死去とを崇め奉つる。主のしばらく

之に服し給ひしは、一に我等人類のためなれば、我いかで主に事へ奉らざるを得べき。願はくは我に御苦難と御死去の功徳を施し、主の流し給ひし御血の功力を與へたまへ。今我ミサの聖祭に與かり、聖體を受くるを得ざれども、聖寵を降し、我をして再び罪を犯して主を離るることなく、一ら主に倣ひて謙遜、潔白、堪忍、仁愛等の德を修めさせ給へ。また我をして情慾に克ち、惡魔の誘引を避け、心に主の平安を守り、地獄の終りなき苦を恐れ、天國の限りなき樂を求め、心を盡くし、力を盡くして、專ら天主を愛し奉つることを得せしめ給へ。アメン。

20 告白前の祈禱

悔悛に叶ふ覺悟を爲すの恩寵を天主に願はん

聖なる天主、主は何時にても罪人の祈禱を聽き、其の罪を赦すを嘉し給ふに因り、いま我が心の底より主に歸り、悔悛の祕蹟を以て清められんことを求むるを顧みて、此の祕蹟に叶ふ覺悟を爲さしめ給へ。願はくは我が智慧に在して罪の何たるを悉く辨へしめ我が心に在して罪を深く悔ましめ、我が口に在して罪を詳かに告白せしめ、且これが赦免を蒙らしめ給へ。

糺明の前に聖靈の扶助を願はん

光の本源なる聖靈、我が心を照らし、我をして己の罪を辨へ知らしめ給へ。願はくは此の世を去りて、主の尊前に審判を受くる時と均しく、今明らかに我が罪を知る事を得せしめ給へ。聖なる天主、我をして其の爲したる惡事、怠りたる善業、及び主に對し、他人に對し、自己と己が職分に對して犯したる罪、並びに其の數、其の重さをも、悉く思ひ出さしめ給へ。眞理を嘉し給ふ天主、我が心の眼をして私情に暗まざらしめ、我が眼の前に懸れるの覆被を除き、請ふ、我をして己を有りの儘に辨へ知りて、主の代理者

なる司祭に言ひ顯すを得せしめ給へ。

糺明の箇條

天主の十誡に對する罪

第一誡の部

信德に係る罪――信仰箇條を疑ひ、妄りに探り索め、輕々しく語る事。○世間を憚りて未信者の態をなし、信仰を顯すべき時に當りて顯さざること。○許可なくして異教の書物、或は公教に悖る書物を讀み、また私に之を有ち、他人に貸覽する事。○聖會の教へ、規律などを謗りて人の信仰を薄らがしむる事。○惡しき交際、妄漫なる談論を以て己が信仰を危きに至らしむる事。○教理を學ぶを怠る事。

望德に係る罪――惡を防ぎ魔鬼の誘引に克つ能はずと思ひ、賴もしき心を失ふ事。○罪の赦免を得る能はずと思ひ、自ら氣を落す事。○病氣、災難に罹る時、天主を賴まず

して失望する事。○天主に祈らず、又自ら用心せざるも、誘感に克ち、罪を避くるを得ると思ひて空しく賴み過す事。○天主の赦免を蒙るを幸ひにして罪を重ぬる事。○過を改むるを急にせず、後を期して之を延ばす事。

愛德に係る罪――天主を愛せざる事。○天主に對する勤を厭ふ事。○天主よりも他の者を猶大切にし、我が食あるひは父母、兄弟、親族、朋友などに引かされて天主に背く事。○憎惡、怨恨、復讐の念などを含む事。○他人の貧苦、病難に遇ふを見て、之を救ひ得べきに救はざる事。○人に惡事を云ひ付け、勸め、許し、或は贊むること。○他人の惡事を戒め得る時、忽せにして戒めず、且惡事の戒めを司どる人に之を漏らさざる事。

○惡事に加はること。

敬神の德に係る罪――朝夕の祈禱を怠る事。○祈禱の時脇見し心を散らす事。○他人の信心を嘲り、或は祈禱を妨ぐる事。○聖堂にて不敬をなし、聖體の前にて不行儀をなす事。○適當の覺悟なくして祕蹟を受け、若しくは受けて後恩謝を爲さざる事。○大罪

あるを包みて聖體、堅振、婚姻などの秘蹟をうくる事。○大罪を隱し、若しくは痛悔なくして無効の告白をなすこと。

迷信の罪――偶像を拜む事。○眞正ならざる宗教の祭具を設け、又は、札守を有つ事。○禮拜の爲に燈明を掲げ、供物を進じ、佛寺或は淫祠邪教會堂に詣で、若くは之が爲に特に寄附をなす事。○祓、呪術、占卜、夢合せ、日選、方角の吉凶などを信ずる事。

第二誡の部

天主の名を濫りに用ふる事。○天主、聖人、聖會、聖教を謗り罵る事。○天主の御攝理を呟く事。○我が身或は他人の身に禍を祈る事。○天主を證據に呼びて僞り、或は疑はしき事、重大ならざる事に就いて誓をなす事。○正しき誓を破る事。○惡をなすを誓ふ事。又は斯かる誓を守る事。○願を安りに立つる事。○立てたる願を破る事。

第三誡の部

職業、商賣の便利を計りて、許もなく急要にも非ざるに働き、日曜日を守らざる事。○主日の勤を妨ぐべき遊戯、娯樂、交際などをなす事。○家族或は召使に主日を守らしめざる事。

第四誡の部

父母と親しまざる事。○父母を敬はず、惡口をなし手向を爲す事。○父母の病氣、老衰および貧窮などを省みざる事。○父母の正しき命令に從はずして其の心を悲しましむる事。○父母に尊き教を勸めず、其の靈魂を救ふに心を用ひざる事。○兄弟姉妹、親族に不和の事。○親たる者、子を愛せず、或は偏頗をなす事。○愛に溺れて子の惡しき業を戒めず、惡き友と交るを禁ぜざる事。○子を戒むるに暴言を以てし、或は酷く取扱ふ事。○子の養育を怠る事。○子の教育の爲に善き師を選まざる事。○子の體のみを思ひて聖教を習はし守らしめざる事。○子を强ひて嫁娶る事。○父母不和にして子に惡しき例を示す事。○召使たる者主人を輕んじ、正しき命令に背き、主家の益を許らざる事。○

主人たる者、召使を憐まず、給料を與へず救靈に導かざる事。○人民たる者官吏を敬はず、之を蔑視にする事。○政府の正しき法律を破る事。○官吏たる者人民の利益を計らざる事。○奉教人なる者教父、司教、司祭などを愛し敬はず、其の訓戒に從はざる事。

第五誡の部

人を殺し、又は胎兒を墮すなどのこと。○自害をなさんと思ふこと。○みだりに人を打ち、或は傷つけ、害を負はすること。○喧嘩、鬪爭をなし、或は人を辱しむること。○故なくして自ら生命を危險に至らしむる事。○右等の事を勸め、或は之をなす人に協同すること。○言葉、行爲を以て人を躓かせ、其の靈魂を害すること。○他人の靈魂、或は肉身に加へたる害を償はざること。

第六誡、第九誡の部

己ひとり或は他人と邪淫の行爲をなす事。(但し其の人は緣附きたるものなるか、又親族なるかを言ひ顯すべし)○我が身或は他人の身に猥褻なる觸をなす事。○猥褻なる言を發し、猥褻なる歌を謳ひ、或は是等を甘んじて聽く事。○見苦しき者を見、並びに見苦しき書畫などを好む事。○其の子女に色道を敎ふる事。○邪淫の媒介となる事。○醜態を現して人の心を亂す事。○右等の事を爲さんと望み、或は爲すを欲するに非ざるも其の思を樂しむ事。

第七誡、第十誡の部

強盜、竊盜、掏摸、詐僞などを爲す事。○人の物或は共有物を私する事。○盜物を隱し或は賣買する事。○請負仕事を粗略にし、賣買、注文などによりて人を欺く事。○格外の掛値に物を賣る事。○格外に口錢を貪る事。○高利に金を貸す事。○勘定違を知りつつ人に損を掛くる事。○仕拂を故意と滯らせ、或は借財や、預り物の返却を等閑にする事。○遺失物を其の主に返さざる事。○妄に人の財產に損害を加へ、預り品を傷ふ事。○約束を違ひて人に損をかくる事。○盜み物を返さず、及び一切人に及ぼしたる損害を

償はざる事。○右等の事に協同する事。○人の持物を貪り、或は損害をかけんと思ふ事。

第八誡の部

官吏の前にて僞の證據を立つる事。○妄書、妄判をなす事。○言葉、行爲を以て人を欺く事。○僞を人に勸むる事。○故なく人の落度を語る事。○不和の基となるべき無益の噂をなす事。○他人の密事を顯し、若しくは其の罪を漏らす事。○他人の誹謗、讒言をなし、又甘んじて之を聽き、之を止めざる事。○誹謗、讒言を以て他人の名譽を傷つけたるを償はざること。○邪推を以て妄に他人を疑ふこと。

聖會の六つの制令に對する罪

第一、第二の制令の部

守るべき祝日を守らざる事。○四つの大祝日に仕事をなす事。○主日、祝日に故なくミサに與からざる事。○ミサの三つの重なる部分を缺きたる事。○ミサの間に祈禱を怠り、脇見し、心を留めずして疎略に拜聽する事。

第三、第四の制令の部

等閑によりて毎年の告白を怠る事。○糾明を疎略にし、痛悔を起さず、罪を有のままに告白せざる事。○司祭より云ひ付けられたる償贖を果さざる事。○等閑によりて御復活日の頃に聖體を受けざること。

第五、第六の制令の部

大齋、小齋の掟を輕んじて之に注意せざること。○大齋を守らざること。○禁ぜられたる日に肉食すること。

罪源の部

傲慢——己の智慧、體力、財産などに誇りて高ぶる事。○他人を輕んずる事。○善業を行ひて人の譽むるを求むる事。○名譽を妄に望み、喜ぶこと。

貪慾――己の力に及ぶ施與をなさざる事。○專ら浮世に精神を籠め、救靈を重んぜざること。○吝嗇を以て己、若しくは他人に對し、必要の物をも缺かんと欲すること。

嫉妬――人の幸を悲しむこと。○人の善事を妬み、若しくは之を妨げんと思ふこと。

○人に禍あるを喜び、若しくは竊に之を望むこと。

邪淫――父母若くは主人たる者、其の子女又は召使に邪淫の行あるを觀て、忽せにし早く之を戒めざる事。○邪淫に導く交際を好み、又は邪淫を犯すの便を避けざる事。

饕食――食物、飲物を過して身體を害し、職業を怠ること。○酒に醉ひ、猥褻なる言葉、行爲を以て人のために惡しき例となること。○酒を嗜むに因つて妻子を顧みざること。○飲食を妄に人に强ふること。

憤怒――己が氣隨を以て腹を立つる事。○爭論、惡口、雜言、打擲などをなすこと。

○他人の怒を起す本となること。

懶惰――職業を勵まず、徒に時間を費し、靈魂上、社會上の務を忽せにする事。○己が缺點を修むるに常に力を用ひざること。

右の條件の外各々其の本分の務につき糺明をなすこと肝要と知るべし。例へば夫婦相互ひの務、（互ひに爭ひ、忠實を守らず、婚姻の目的に背くこと等）教師、生徒、官吏、職人の義務などを全うしたるや否やを考ふる類なり。

痛悔の祈禱

主よ、我は其の幾度も主に背くまじと誓ひながらも、尙、屢々同じ罪に陷りたることあるを深く心に耻いり奉つる。吁、如何なれば我は御心に甚だしく逆ふを知りつつも、些少なる事の爲に御惠を汚し、斯かる罪を犯したりしぞ。吁、我が神、我が父、最聖善にして寛容なる父よ、主の震怒を和げて我を赦し給へ。主の公義に從ひて我が罪を罰し給ふなかれ。我は罪の爲に受くべき罰を恐るるよりは、寧ろ御意に背きしを耻ぢて之を悔み奉つる。願はくは、眞實に痛悔する我が心を見行し給へ。慈悲にて在します天主、

我が自ら犯せる罪と他人に犯させたる罪とを俱に赦し給へ。又務むべき善業を爲さず、或は之を忽緒に爲たるをも赦し給へ。憶えたる罪と憶えざる罪をも悉く赦し給へ。我今罪を忌み憎みて悉くこれを棄つ。若し能はば、我が血を以て罪を洗ひ清め、我が所有物を悉く獻げて御意に背きし愆を贖はんと欲す。然るに痛悔のみにては罪に應ずるに足らざるに因りて、之を補はん爲にゲツセマニの園に於ける救主の死苦と血の汗を獻げ奉つる。願はくは主の御心に撒りたる悲哀の海の一滴を我が心に注ぎ給ひて、此の身の死するまで罪を悔ましめ給へ。

遷善の決心を爲さん

主よ、我は主に背くよりは寧ろ死せんと思へども、既に犯したる罪は俄かに消す能はざるにより、以後、聖寵の扶助を蒙りて、必ず主に背くまじと堅く決心し奉つる。われ罪を避くるのみならず、其の源と便を避け、殊に習慣、惡心、及び自己の弱きに因りて

屢々犯したる罪をも悉く避けんと欲す。また司祭の我に示さるる言葉をば、主の口より出づるが如き誡として、謹みて其の尋に應じ、また約束を結ぶにも、皆主に向ひて之を爲すものと思ひて、確く之を守り奉つらん。

賴もしき心を起さん

嗚呼、天主、主の限りなき哀憐と救主イエズス・キリストの功績は、主の公義を和げて我のために恩惠を招き來し給ふ。然らざれば、我が罪の重きに因りて迚も主の震怒を免れじ。然れど主は罪を悔みて司祭に告白せんとする罪人のためには、御子イエズスの祈禱を聽き棄て給はざるなり。聖善なる御父よ、斯く賴もしく思ひて、我が罪を少しも漏らさず、眞實謙遜を以て告白し奉つる。願はくは司祭が地に於いて與ふる赦を、天に於いても固うし給へ。

聖母と守護の天使に賴まん

罪人の依頼み參らする哀憐の母、聖マリア、我が今受けんとする祕蹟を以て罪を重ぬることなく、既往の罪は悉く赦され、重ねて罪人とならざる爲に必要の聖寵を蒙らんことを我が爲に祈り給へ。忠實にして、熱心なる我が守護の天使、我が曩に倒れしを見たる如く、今將に起きんとするを助けて、此の祕蹟に依り再び倒れざる力を得せしめられんことを我が爲に取次ぎ給へ。アメン。

告白場に到りての祈禱

✝ 聖父と聖子と聖靈の御名に因りて。アメン。

告白者多數の時は以下三行の祈禱を略し、單に「我謙遜と痛悔とを以て告白し奉つる」と誦ふ。

我、罪を犯せしに由りて靈父の掩祝を乞願ふ。全能の天主、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ、諸聖人及び靈父に向ひて告白し奉つる。我は思と言葉と行爲を以て多くの罪を犯せり。

是に於いて此の前何時告白したりしや。罪を赦され、償ひを果したるや否やを告ぐべし。其より犯したる罪と、大罪あらば其の數も覺えたる限り明了に告白すべし。ただし言葉少く分り易きを要す。又司祭の問ふ所は詳かに答を爲し、終りて左の如く誦ふべし。

斯く憶えたる罪と憶えざる罪と、洗禮以來犯したる罪とを悉く告白し、これが赦免と償贖の恩典を乞ひ求め奉つる。（告白者多數の時は次の祈禱「これ我が過なり、云々」を略す）

これ我が過なり。我が過なり。我が最大いなる過なり。是に由りて終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ、諸聖人及び靈父に、我のため主なる我等の神に祈られんことを願ひ奉つる。

これを云ひ終りて後、司祭の命ずる償贖と勸諭を謹みて聽き、赦免を受くる時に當りて痛悔の祈禱を誦ふべし。斯くて告白場を退き、天主より賜はりたる惠を謝すべし。

痛悔の祈禱

嗚呼天主、我主の限なく嫌ひ給ふ罪を以て、限りなく愛すべき父に背きしを深く悔み

奉つる。御子耶蘇基督の流し給へる御血の功徳に因りて、我が罪を赦したまへ。聖寵の扶助を以て今より心を改め、再び罪を犯して御心に背く事あるまじと決心し奉つる。

21 告白後の祈禱

信仰と依頼心を起さん

哀憐深き天主、我前に罪人なりしかど、今悔悛の祕蹟を以て全く潔められたり。聖善なる天主、我いま主の代理者より罪の赦免を受けたるが故に、若し我が爲せる覺悟にして足らざる所なかりしならば、再び聖寵を蒙るに及びたるならんと嬉しく思ひ奉つる。今此の恩惠を蒙りたるは、救世主イエズスの我等の爲に流し給へる御血の功徳なれば、我が罪の疵の癒されたるは、全く御傷の功力に由ることと謹みて信じ奉つる。

主に謝せん

我が心いかで主なる神に感謝し、其の恩惠を辨へ知らざらん。主は我が罪の爲に受くべき苦痛に換へて僅少なる償贖を取り、辱けなくも罪を悉く赦し、且忘れ給へり。吁、主は限りなく聖善、仁慈なる者に在まさずば、いかで罪人なる我を斯く惠み給はんや。嗚呼、哀憐深き神なる哉。我日々に蒙る所の恩惠をば如何にして之を謝すべき。我他に法を知らざれば、日々に感謝を獻物とし、斷えず主の限りなき哀憐を稱へ、死するまで主を一心に譽め、至善なる神、無上の主、至愛の父として讃美し奉つらん。

罪を避くるの決心を爲さん

主よ、主は既に我が罪を赦し給へば、我なほ深く罪を忌みて再び犯さじと決心す。願はくは我が心を新にし、主に背かじとの望を固くし、罪の便と御意に逆ふ惡とを避けんとする我が決心を保たしめ給へ。我今日より新なる行爲を以て御恩惠を世に示し、主の代理者より教へられし手段に從ひて自己に克ち、身を獻げ、聖寵の扶助に由りて靈魂の

仇に勝つを得ば、遂に主と共に天堂に於いて光榮を得、終りなき快樂を蒙るに至らんと賴もしく思ひ奉つる。

司祭の命じたる罪の償贖を速かに果すべきは勿論、眞實に天主に歸服したるを證するため、罪の原因を探り索めて、如何にせば之を除くを得べきやを深く思ひ考ふべし。また犯し馴れたる罪に再び陷る便を除く決心を確かに爲すべし。若し再び犯す事ある時は、如何なる手段を以て償贖を爲すべきと、豫て定め置くこと尤も好き工夫なりと知るべし。

22 聖體拜領前の祈禱

信仰を起さん

天地の神、萬民の救主なるイエズス、主今我に望み給ひて、我、主を授かるの幸福を蒙らんとす。若し主自ら宣ひし言葉あるにあらずば、誰か斯くのごとき奇蹟を信ずるを

得んや。我は此の秘蹟の中に主の眞に在しますことを信ず。▲即ち我等の爲に生れ、十字架に附けられて死し、又天堂に於いて限りなき光榮を帶び給ふ我が救主、今此の麵麭の形と色の中に籠り在ますと、我は深く信じ奉つる。主よ、我は信じ奉つる。然れど我が信仰の弱きを助け給へ。

謙遜の心を起さん

無上の稜威を具へ給ふ天主、如何にして此の卑しき我を顧み給ふべきや。我は如何にして主なる神の我に臨み給ふの幸福を得べきや。▲我は罪人にて禽獸にも劣る者なれば、いかでか聖なる天主に近づき、天使の麵麭を食するを得ん。我は此の惠を受くるに足らざるに因り、百夫の長に倣ひ、謹みて云はん。主よ、我は不肖にして主を吾が舍の下に入るるに堪へず。只一言をだに宣はば我が心癒えん。

痛悔を起さん

憐れみ深き天主、主は罪人なる我より遠ざかり給ふべきに、却つて我に臨み給はんとす。▲我痛く其の慈悲に感じ、主に背きしことを深く悲しみ、再び罪を犯さじと決心し、偏に赦を願ひ奉つる。愛すべき御父、我を寵しみて主に近づくを得せしめ給ふに因り、願はくは我が汚穢を洗ひて心を新ならしめ給へ。

深く賴む心を起さん

主の全能と全善に感じ、我は深く賴む心を以て尊前に進まんとす。▲主は御約束の如く我が乏しきを助け、我が需要を充たさんとて招き給へば、我其の御言葉に應じ、謹みて近づき奉つる。我弱く、貧しく、盲目なるに因り、願はくは我を強め、援け、照らして新にし給へ。我が救主なる神の來り給へば、誠に賴もしくぞ思ひ奉つる。

望を起さん

至善なる天主、我を主に配合しめん爲に忝けなくも我に望み給ふ。▲愛すべきイエズス

來り給へ。救主の其の拜むべき御體と、尊むべき御血、來りて我が靈魂の糧となり給へ。われ主を受くるに足らされども、只一言を以て我を潔め給へ。われ主を受くるの覺悟を爲せしかども、尚足らざるを補ひて、我が心を和げ、愛の熱を燃し給へ。主イエズス、願くはは來り給へ。

23 聖體拜領後の祈禱

聖體を授けられたる時は、天主の眞體全く我に宿り給ふに因り、聖母マリアに倣ひて、謙遜、熱愛を盡くし、主が我等の心の中に行ひ給へる奇蹟に付きて深く默想すべし。即ち、我が身をば、聖の聖なる天主の住み給ふ神殿に等しと思ひ、善く慣みて他念を防ぐべし。

拜禮せん

拜すべき稜威の天主、天に於いても地に於いても、其の最大いなる者だに、尊前には

出づるに足らず。況て我が如き卑しき者をや。唯尊前に默し、謹み敬ひて、全く自己を無き者と思ふの外、別に爲すべき所なきなり。

聖なる天主、われ主の最上の威勢と光榮を恭しく敬ひ奉つる。總べて尊前に在りては力ある者弱み、榮えたる者凋み、光ある者暗むべし。廣大なる神、萬世の王、唯主ひとり限りなく尊かり、又榮えませり。主の名に由りて來り給へる救主、榮光を得、崇められ、祝せられ給へかし。今日斯く我と配合せられて、我が心の中に住み給ふ。嗚呼、最高き天主の永遠なる御子、尊まれ給へかし。

主の名に由りて來りませる者、祝せられ給へかし。

イエズス・キリスト、主は唯一の主にて在しませり。唯獨り挺んでて高くいませり。

愛を起さん

愛の深き天主、我、主を受くるの幸福を得たり。吁、其の哀憐の深きこと幾許ぞや。

われ如何にしてか能くこれに應ずべき。唯身を盡くして、專ら主を愛することを望むのみ。願はくは、主の愛の火を以て我が心を燒き盡くしたまへ。我が愛する者我に來り、イエズス御體を我に與へ給へり。願はくは聖母マリア、諸天使、諸聖人、我をして能くイエズスを愛し奉つらしめん爲に、心と愛とを我に添へ給へ。我專ら心を盡くし、萬事に超えて主を愛し奉つらんと決心す。願はくは我が此の決心を堅からしめ給へ。

我が最愛のイエズスは我に在り、我はイエズスに在るなり。

我、主を愛す。主之を知り給ふ。（ヨハネ廿一ノ一五）

感謝せん

主の今我に與へ給へる恩惠をば、如何にしてか謝するを得ん。主は我を愛して生命を棄て給ひしのみならず、今日も自ら我が心に降りて御體を我に授け給へり。嗚呼、我が靈魂は窮りなく主を崇め、其の惠を謝し、其の哀憐を讃め稱へ奉らん。甘味なる救主、

今我に施し給へる此の大いなる恩惠を感謝し奉つる。我今までは不忠、卑怯なる者にてありたれど、今よりは恩を知らざる者とならで、主の御體を我に授け給へる事を永遠に憶え、主に我が身を全く獻げて、生涯其の恩惠に報い奉つらんと決心す。

主の我に與へ給へる諸々の恩惠は、▲吁、如何にしてか報ゆるを得べき。主の光榮の大いなるが爲に、▲感謝し奉つる。

恩惠を願はん

恩惠の盡きざる源なるイエズス、主は今御手に溢るる聖寵を沃がんとて我が心に宿り在せり。聖善にして慈悲深き天主、主は全能に在しませば、我が貧しきを御覽して惠を垂れ給へ。我に行はんとて臨み給へる御旨を我がために成し給へ。▲願はくは我が肉身を潔からしめ、靈魂を聖ならしめ、主の生と死の功德を我に蒙らしめ給へ。靈魂を愛し給ふイエズス、我に合ひて我の中に住み給へば、我も亦主に合ひて主の中に生きんとす。

願はくは主のために窮りなく生き存へしめ給へ。愛すべき救主、我に必要の恩惠を垂れ給へ。又我のみならず、爲に我が祈るべき人々にも此の恩惠を施し給へ。

主、我を祝し給はずば、▲われ主を放ち去らしめじ。（創世紀三十二ノ二十六）

主の御哀憐に任せて、▲僕を處ひ給へ。（トビア書三ノ六）

身を獻げん

哀憐深き天主、主の我に數多の恩惠を施し、御體を與へ給へるは、これ我をして主の有たらしめん爲なれば、我も又、專ら力を盡くして主の有とならんと欲す。▲されば何を思ひ、何を謀り、何を爲すにも一に聖旨に從ひ、健康、體力、精神、才能、信用、財產名譽等、凡て我に屬するものをば、唯主の光榮の爲にのみ用ひんと決心す。主よ、我が精神を御手に委せ奉つる。願はくは我が意思を總べて聖旨に從はしめ給へ。

我は、▲主の僕にて主の婢の子なり。（智書九ノ五）

善良なる決心を爲さん

友の中にて最も勘忍なる、最も大度なる友イエズス、今より後誰か我をして主より離れしむるを得るものぞ。我が今まで主に遠ざかりし所以の原因を除き去り、聖寵の助力を藉りて、再び罪を犯さじと決心し奉つる。主よ、われ以後、思、望、言葉、行爲等に就きて潔白を傷はず、愛德に背かざらん事を誓ひ、勘忍を壞り、主の御名を汚し、人を欺き、憤り、誹る等の事なく、勤務を忘らずして專ら主に事へんことを約束し奉つる。又主の否み給ふ交際を絶ち、我が心の娛樂に耽けらず、人の輕蔑と批評を畏れず、世の聲譽を望まず、主に背くよりは寧ろ尊前に死せんと決心す。願はくは、我をして主の有たらしめ、一に主の光榮のため生き存へしめ給へ。

聖體を拜領せし者は　假令ミサ聖祭終りても、聖體拜領の時より、凡そ十五分間過たざるうちは決して聖堂より出づべからず。

24 キリストに向ふ熱き望

（聖イグナシオの文）

願はくはキリストの魂、我を聖ならしめ、キリストの體、我を救ひ、キリストの血、我を醉はし、キリストの脇腹より滴りし水、我を潔め、キリストの受難、我を强めんことを。聖善なるキリスト、我が願を聽いれ、御傷の中に我を隱したまへ。主を離るるを赦さず、魔鬼より援ひ給へ。末期の時に我を招き、主の方に至らしめ、諸聖人と共に、永遠に主を讃美することを得せしめ給へ。アメン。

25 十字架に磔れるイエズスに向ふ祈禱

聖體を拜領せし者は、十字架の在る場所にて跪づき「十字架に磔れるイエズスに向ふ祈禱」を一遍、及び「主禱文」「天使祝詞」「榮誦」各一遍を誦ふれば全贖宥を得。

聖善にして最も甘味なるイエズス、我尊前に跪づき平伏し奉つる。豫言者ダヴィドが

キリストに向ふ熟き望　十字架に磔れるイエズスに向ふ祈禱

主につきて「彼等は我が手、我が足を貫き、我が骨を悉く數へたり」と云ひし狀態を今我が目の前に見れば、心の大いなる感情と悲哀とを以て、主の五つの傷を偏に眺め、且心にて思ひ廻らし奉つる。願はくは信、望、愛の烈しき感覺と、我が罪の眞の痛悔と、之を改むるの最も堅き決心とを、我が心に浸込ませ給はん事を切に願ひ奉つる。アメン。

26 十字架の道行の祈禱

十字架の道行の前の祈禱

救主イエズス・キリスト、主は我等の罪を贖はん爲、イエルザレムに於いて殘酷なる苦難に遇ひ、耻辱を受け、十字架を擔ひてカルワリオの山に上り、衣を褫がれて釘付けられ、二人の盜賊の間に擧げられて死し給へり。我等、主の斯く苦しみ給へる地に詣で、御血に染みたる道を歩みなば、鈍き我が心にも、主の愛の深きを悟りて感謝に堪へざるべし。又主の苦難の源なる己が罪の重きを辨へて、誰か痛悔の情を起さざる者あらん。我斯かる幸福を得んと欲すれども能はざれば、該地の紀念なる此の十字架の道を歩まんとす。我若し聖寵を蒙らずば、眞愛と痛悔の情を起す能はざるべきに因り、乞ふ、惠を下して、主の苦難を我が心に感ぜしめ、嘗て聖母マリア及び主の跡を慕ひし人々の心に充ち溢れたる悲哀をば、我が心にも浸透らせ給へ。▲我に今より深く罪を忌み嫌ひて全く棄て、愛を以て主の慈愛に報い、主の爲に苦難を甘んじ受くるを得せしめ給へ。又主の代理者として教皇より、此の十字架の道を宜しきに協ふ心もて、行く人々に施す所の贖宥を我が爲、及び煉獄に苦しむ靈魂の爲にも得せしめ給はんことを偏に希ひ奉つる。

吁、聖母よ、▲十字架に釘付けられ給へる御子の傷を、我の心に深く貫かせ給へ。

十 第一留 イエズス、死刑の宣告を受け給ふ

嗚呼、キリストよ、主は尊き十字架を以て世を贖ひ給ひしに因り、▲我等主を拜禮し、

主を讃美し奉つる。

惡黨輩は主を捕へてカイファの許に曳き行き、種々の嘲罵を爲し、御面に唾し、打擲き、次いでピラトの裁判に交せり。ピラトはユデア人の心を和げんとて主を石の柱に縛つけ、打擲き、終に茨の冠を御頭に押冠せければ、傷つき、血流れたり。然るをユデア人は少しも憫れと思はずして、尙も「十字架に掛けよ、十字架に掛けよ」と大いに叫びたりしかば、ピラトも詮方なくて之に死罪を云ひ渡すに至れり。

嗚呼、イエズス・キリスト、主を死刑に處せしは、ピラトとユデア人とにはあらず。畢竟これ我等の罪の所業に由るなり。我等いま罪を犯す毎に主に大いなる苦痛を加へ、法外の罪案を受けさせ奉つるなり。因りて我等の受くべき罪案を消し給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文

天に在します我等の父よ、ねがはくは御名の尊まれんことを、御國の格らんことを、聖旨の天に行はるる如く地にも行はれん事を。我等の日用の糧を今日我等に與へ給へ。我等が人に赦すごとく我等の罪を赦し給へ。我等を誘試に引き給はざれ、我等を惡より救ひ給へ。アメン。

天使祝詞

慶たし聖寵充ち滿てるマリア、主、爾と共に在します。爾は女の中にて祝せらる。又御胎の御子イエズス祝せられ給ふ。天主の御母聖マリア、罪人なる我等のために、今も臨終の時も祈り給へ。アメン。

願はくは聖父と聖子と聖靈に光榮あらんことを。元始に在りし如く今もいつも世々に至るまで。アメン。

主、我等を憐み給へ。我等を憐み給へ。

願はくは死せる信者の靈魂、天主の哀憐に因りて、安穩に在らんことを。アメン。

吁、聖母よ、十字架に釘付けられ給へる御子の傷を、我の心に深く貫かせ給へ。

十　第二留　イエズス、十字架を擔ひ給ふ。

吁、キリストよ、主は云々前の如し

惡黨輩は主を外に曳き出で、荒木にて作れる十字架を以て、畏くも主の肩に打掛くるや、主は御身の痛手をも厭ひ給はず、少しも拒み給ふ御氣色なく、引寄せて之を擔ひ、飽くまでも柔和、堪忍の御容にて、彼等の跡より徐々と歩ませ給ふ。

吁、イエズス・キリスト、主は十字架を擔ひ給ふべきにあらず、我等こそ惡人にて十字架を擔ふべき者にはあるなれ。然れば主の聖慮に因りて、我等は罪を贖ふがために、此の世の苦難を受くべき者なれば、主を龜鑑として柔和、堪忍を以て、これに耐へしめ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

十　第三留　イエズス、始めて倒れ給ふ

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主は既に鞭うたれ、茨の冠に刺し貫かれ給へる程に、疵痕爛れ破れ、朱の血に染みて歩み給ひければ、衰弱のあまり足下よろめき、遂に十字架の重きに堪へずして、傾き屈み、やがて大地に倒れ給ふ。

吁、イエズス・キリスト、主を倒し參らせしは、一に我等の罪の重きに因るなり。我等罪に陷りたるに因りて、主は斯かる苦難を受け給ふなれば、我等深く之を悲しみ奉つる。此の苦難の功力に因りて、我等を罪より救ひ給はん事を一向願ひ奉つる。アメン。

十　第四留　イエズス、聖母に逢ひ給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

聖母マリアは御子死罪の宣告を受け給ひしを聽き、急ぎ行き給ふ程に、途にて逢ひ給

へり。憐れ、天使の御告ありし昔には似るべくもあらず。主の朱の血に染み、目も當てられぬ御容を見て、深く悲しみ給へども是非なし。御子の苦難に自らの悲哀を添へて、我等の爲に御父天主に獻げ給ふ。

吁、イエズス・キリスト、聖母マリアに御心を悲しませ參らせしは、一に我等の罪に依るなり。主は限りなく慈悲深く在ませば、幸ひに我等の罪を赦し給へ。又主と御母の御心を慰め奉つる爲に、我等に力を盡くさせ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第五留　イエズス、シレネのシモンに助力を受け給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主は斯く歩み行き給ふ程に、御氣力次第に衰へて已に危く見え給へり。然れど來りて扶けまゐらする者も無く、却つて樣々に罵り、敲きたりければ、今は早や、堪へ難くて沈み入り給はんとす。惡黨輩は折しも其處に佇めるシレネのシモンと云ふ人に強ひて、十字架を助け擔はせ、猶も主を驅りて歩ませ奉つれり。

吁、イエズス・キリスト、主の十字架を擔ひて力弱り給ひしは、これ全く我等の罪の重きが故なり。然れば我等今シモンに代りて、十字架を擔ふべき者なれば、今より一切の艱難を主の十字架の分として、我等に受けしめ給はん事を一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第六留　イエズス、御面を帛に寫させ給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主は猶歩み行き給ふ程に、御體も御面も赤の血に染み給へども、惡黨輩は少しも憫れまず、益々暴立ち譟ぎたり。此の時ヴエロニカと云ふ女、群衆の中より走り出で、主に帛を獻げければ、主は自ら御面を拭ひ、尊き面影を其の帛に寫して返し授け給へり。

吁、イエズス・キリスト、我等の靈魂に聖寵を添へ給へ。十字架の苦難に因りて我等に御功德を移したまへ。我等弱き者なれども、ヴエロニカに倣ひ、敵の嘲弄を顧みず、專ら主を崇め奉つらしめ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第七留　イエズス、二度倒れ給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主の力は血と共に減り、今は足も進みかね、息絶々にて俯伏しに倒れ給ひぬ。惡黨輩は猶も憫れまずして打ち擲き、棄物の如く扱ひつつ、强ひて歩ませ奉つれり。

吁、イエズス・キリスト、我等御血の跡を慕ひて深く愛し奉つる。主の二度倒れ給ひしは、我等の悲しむ時に當りて、賴もしき心を失はせじとなり。天に昇るの道は十字架の道にて、即ち苦痛の道なれば、御苦難の功力に賴り、我等に雄々しき心を起して、歩ましめ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第八留　イエズス、イエルザレムの婦人を慰め給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

此の時、主の後より數多の人々慕ひ來り、中にもイエルザレムの婦人は涙に咽びて道すがら泣きをれば、主は彼方を顧みて自ら苦痛を忘れ、慰めて宣はく「イエルザレムの婦人よ、我の爲に泣く勿れ。汝等と汝等の子孫の爲に悲しむべし。生木さへ斯くの如くなれば、況て枯木は如何にぞや」と。

吁、イエズス・キリスト、主は罪なくして苦難を受け給へり。我等は罪を以て聖寵を失ひ、恰も枯木の如くなれば、必ず地獄の火に燃さるべき者なり。然れば我等に己の罪と人々の罪の爲に泣き、痛悔の涙を濺がしめ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第九留　イエズス、三度倒れ給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主はカルワリオ山の上に到りて又倒れ給ふ。蓋、人々の斯かる苦難を無益に爲さんことを思召しつつ、御心細き餘り、深く悲しみ給へばなり。然れど主は何處までも人々を助けんとて苦難を耐へ忍び給ふ。

吁、イエズス・キリスト、主は何故に幾度も倒れ給ひしぞや、これ、全く我等幾度も罪を犯し、たとひ後悔を起すとも、復重ねて罪に陷るが故なり。主は三度の後は倒れ給はず。然れば我等をして主の功力に賴りて、此の後再び罪を犯さざらしめ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第十留　イエズス、衣を褫がれ給ふ。

吁、キリストよ、主は云々前の如し

惡黨輩はカルワリオ山に於いて主の衣を褫ぎ參らせり。其の時御衣は御創に附着して痛さに堪へ給ふべくもあらず。御頭の茨の冠も障なりとて取り除けしを、また元の如く押冠らせ參らせたり。蓋いと苦しき事なれども、群衆の中に肌を晒させ給ひしは、尙、之に勝りて苦し氣に見えさせ給ふ。

吁、イエズス・キリスト、我等御意に適はざる事あらば、御衣の如く脫がしめ給へ。別けても傲慢、邪淫、貪婪等の惡しき心を除き、聖寵の衣を着せ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第十一留　イエズス、十字架に釘付けられ給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主は既に釘付けられんと十字架の上に倒れ、自ら御手足を伸ばし給ひしを、惡黨輩は荒々しくも其の御手足に釘を指込み、鐵槌にて打附けたりけり。此の時主の苦痛は如何許なりしぞや、其の肉は破れ、骨は碎かれ、筋は切られ、疵口より血は流れ、其の力は絶え、猶も御渴には堪へ給ふべくもあらず。然るを惡黨輩は十字架を押し立て、根基を衝き堅めて立ち去りけり。聖マリアは始終之を見て涙に咽び、十字架の下に止り給ふ。

吁、イエズス・キリスト、主は我等の爲に十字架に釘付けられ給へり。然れば我等もまた主と共に十字架に付けられん事を望む。假令、活死、饑渴など如何なる苦に逢ふとも、主を離れざるやう御惠を以て縛り付けさせ給はんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第十二留　イエズス、十字架の上に死し給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主は二人の盜賊の中に擧げられ給ひしが、惡黨輩の爲に御父の天主に向ひて「彼等は其の爲す所を知らざるに因りて赦し給へ」と宣へり。一人の盜賊は之を聞きて「主、其の國に到らん時我を憶ひ給へ」と申したりければ、主は「今日汝、我と共に樂園に在らん」と宣へり。又十字架の下に、聖母及び御弟子の立るを見給ひて、御母に向ひ「婦よ、汝の子是に在り」と宣ひ、聖ヨハネに向ひ「汝の母茲に在り」と宣ひ、やがて「事終りぬ」と宣ひて、息は絶えさせ給へり。其の時日は尙高かりけれど、世界俄に夜の如く暗くなりぬ。

吁、イエズス・キリスト、主の死し給へる時に當り、地は震ひ、日は暗み、墓は開け、死人は蘇り、巖は破る。我等、之を見て心に痛く感ずる所なくんば、極めて頑固なる者なり。之に由りて、今より我等再び罪を犯さず、主と共に此の世に死せん事を一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第十三留　イエズス、十字架より下され給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

主は既に息絶えさせ給ひしかば、御體は十字架より下されて、聖マリアに抱かれ給へるに、御母は其の血色、目、口、手、足、脇腹の傷を見て、絶え入る許に哭き給ふ。

吁、イエズス・キリスト、斯くも聖母を哭かせ奉りしは即ち我等なり、噫、罪人なる我等、今更悔み悲しみ奉つる。聖母は我等の爲に毎も母となり、我は毎も子となりて、孝を盡くさんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十　第十四留　イエズス、墓に葬られ給ふ

吁、キリストよ、主は云々前の如し

時にニコデモとヨゼフはピラトの許を得て、主の御體を葬らんと御母より之を受け、

清らかなる布にて包み、新しき墓に葬り奉つれり。

吁、イエズス・キリスト、我等の罪を御墓に隱し給へ。我等心を以て新しき墓となし主を是に受け奉つり、今より此の世の樂に死し、天國に於いて主を讃美するを得せしめられんことを一向願ひ奉つる。アメン。

主禱文　天使祝詞　其の他前の如し

十字架の道行の後の祈禱

唯一の希望にして世の扶助と榮光なる十字架を崇め奉つる。願はくは信心なる者是に出りて益々聖寵を加へられ、惡人も之に由りて其の罪を赦されんことを。▲救靈の源にて在ます三位一の天主、願はくは一切の靈をもて主を頌め稱へしめ給へ。我等に十字架の勝利を與へ給ひしに因り、其の報をも得せしめ給へ。アメン。

嗚呼、キリストよ、主は尊き十字架を以て世を贖ひ給ひしに因り、▲我等主を拜禮し、

主を讃美し奉つる。

悲哀を極めませる童貞、我等の爲に祈り給へ。▲キリストの約束に我等を協はしめ給へ。

祈願せん

主よ、我等の主イエズス・キリストは、主の一族なる我等のために殘害者の手に交され、十字架の苦を受くるを厭ひ給はざりき。▲願はくは主の此の一族を顧み給へ。

主イエズス・キリスト、活ける神の御子、主は世を贖はんがために十字架の磔柱に上り、且我等の罪の赦されん爲に御血を流し給へり。▲願はくは我等をして、死後喜びて天堂の門に入るを得せしめ給へ。

主イエズス・キリスト、主の御苦難の時に當りて、苦の劍は御母なる童貞聖マリアの尊き心を貫きたり。▲願はくは聖母我等の爲に取次ぎ、今も臨終の時も毎も主の寛典を、我等のために賴み給はんことを希ひ奉つる。アメン。

27 ロザリオの祈禱

ロザリオの祈禱を誦ふるの心得

ロザリオの祈禱は天使祝詞百五十遍を誦ふるなり。之を分ちて十遍を一聯とし、五聯を一串とし三串を以て終りとす。一聯毎に前に主禱文一遍、後に榮誦一遍を誦ふ。又初の一串に使徒信經、主禱文各一遍、天使祝詞三遍、榮誦一遍を加へ誦ふるの習慣あり。但し、一日一串を誦ふる時はその度毎に之を加ふ。

又この祈禱を誦へながら聖マリアの重なる歡喜、苦痛、及び光榮の諸端を默想す。これをロザリオの十五玄義と云ひて一聯毎に一端を默想するなり。

元來この祈禱は毎日十五聯を悉く誦ふることあれども、若し、之を三分して一日一串を誦へんとせば、歡喜の玄義五端を月曜、木曜の日に、苦痛の玄義五端を火曜、金曜の日に、光榮の玄義五端を水曜、土曜、日曜の日に、默想するを例とす。其の方法は默想すべき玄義を先づ毎聯の初に陳べ然る後、大珠に至りては主禱文一遍を誦へ、小珠に至りては天使祝詞を十遍誦へ、之を終るに榮誦一遍を以てす。

歓喜の玄義五端

第一、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、聖母が御告を受けさせられたるを崇め、其の御傳達に由りて、謙遜と信仰の徳を與へられんことを冀ふ。

第二、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、聖母がエリザベトを訪問せられたるを崇め、其の御傳達に因りて、人を愛するの徳を與へられんことを冀ふ。

第三、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主の降誕し給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、世の財寶を輕んずるの徳を與へられんことを冀ふ。

第四、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、聖母が潔の式に與り、主を聖殿に獻げさせられたるを崇め、其の御傳達に因りて、律法を守るの徳を與へられん事を冀ふ。

第五、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主が聖殿に見出され給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、主を愛するの徳を與へられんことを冀ふ。

苦痛の玄義五端

これを死者の爲に祈らんとする時は、此の玄義毎端の終り、即ち「…聖母の御傳達に因りて」の次を「此の死せる信者の靈魂を救ひ給はんことを冀ふ」と代へて祈る。

第一、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主がゲツセマニの園にて死ぬるばかり憂ひ給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、罪を痛悔するの恩惠を與へられんことを冀ふ。

第二、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主が鞭うたれ給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、罪を償ふの恩惠を與へられんことを冀ふ。

第三、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主が茨の冠を被らせられ給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、人の侮り辱めを恐れざるの恩惠を與へられん事を冀ふ。

第四、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主の十字架を擔はされ給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、患難を甘んじ受くるの恩惠を與へられんことを冀ふ。

第五、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主が十字架の上に釘付けられて死

し給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、救靈の恩惠を與へられんことを冀ふ。

光榮の玄義五端

第一、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、主の復活り給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、主のごとく復活らされんことを冀ふ。

第二、主イエズス、キリスト、此の一聯を獻げて、主の昇天し給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、天國の福樂を深く望むの心を與へられんことを冀ふ。

第三、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、聖靈の降臨し給ひしを崇め、聖母の御傳達に因りて、聖靈の賜を與へられんことを冀ふ。

第四、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、聖母の天に上げられ給ひしを崇め、其の御傳達に因りて、善き終焉を遂ぐるの恩惠を與へられんことを冀ふ。

第五、主イエズス・キリスト、此の一聯を獻げて、聖母が天使と人類の元后に立てられ給ひしを崇め、其の御傳達に因りて、榮福の冠を與へられんことを冀ふ。

28 朝目の覺めたる時の祈禱

✝ 聖父と聖子と聖靈の御名に由りて。アメン。

嗚呼、天主、我伏して主を拜み、心の底より主を愛し奉つる。

主よ、今日の思、言葉、行爲、苦痛を、總べてイエズスとマリアの思、言葉、行爲、苦痛に合はせて主に捧げ奉つる。

主よ、御手を伸べて我を守り給へ。聖母マリアよ、御蔭の下に我を隱し給へ。守護の天使、保護の聖人、我を援け給へ。

29 就業前の祈禱

聖靈來り給へ、信者の心に充ち給へ。主を愛する熱心の火を燃しめ給へ。

主よ、聖靈を遣はし給へ、而して萬づの物は造られん。地の面は新にならん。

祈願せん。聖靈の光を以て信者の心を敎へ給ひし天主、同じく聖靈を以て我等に正しき事を悟らしめ、其の御慰藉に因りて常に喜ぶ事を得せしめ給へ。我等の主キリストに因りて。▲アメン。

原罪なくして孕り給ひし聖マリアよ、賴み奉つる。▲我等の爲に祈り給へ。

30 止業後の祈禱

天主の聖母の保護に依靠り奉つる。▲盛榮、萬福なる童貞、我が急なる時に呼ばはるを輕んじ給はず、却つて總べての危險より常に我等を援ひ給へ。アメン。

31 榮誦

願はくは聖父と聖子と聖靈に光榮あらんことを、▲元始に在りし如く今もいつも世々に至るまで。アメン。

32 食前の祈禱

主、願はくは我等を祝し、また御恩惠に由りて、我等の食せんとする此の物を祝したまへ。✝聖父と聖子と聖靈の御名に由りて。▲アメン。

33 食後の祈禱

永遠に統治し給ふ全能の天主、諸々の御恩惠を感謝し奉つる。▲アメン。

願はくは死せる信者の靈魂、天主の哀憐に由りて安穩に在らんことを。▲アメン。

34 顧告

至聖なるイエズスの聖心　我等を憐み給へ。

心の柔和、謙遜なるイエズス　我等の心を聖心に肖らしめ給へ。

聖マリアの汚なき聖心　我等の爲に祈り給へ。
大天使聖ミカエル　我等の爲に祈り給へ。
聖ヨゼフ　我等の爲に祈り給へ。
聖フランシスコ・ザヴエリオ　我等の爲に祈り給へ。
日本の尊き殉教者　我等の爲に祈り給へ。

35 床に就く時の祈禱

イエズス、マリア、ヨゼフよ、我が心と精神と生涯とを御手に托せ奉つる。
イエズス、マリア、ヨゼフよ、臨終の苦悶の時我を助け給へ。
イエズス、マリア、ヨゼフよ、御蔭に縋りて安全に息絶ゆるを得せしめ給へ。

36 異教人の感化を求むる祈禱（聖フランシスコ・ザヴエリオの文）

萬物の創造主、永遠無窮の天主、異教人の靈魂も主に造られたる者、主に象りたる者なるを幸ひに顧み給へ。吁、彼等は主の光榮を傷つけて地獄に充ち滿つるにあらずや。慈愛み給ふ御子イエズスの、彼等を救はん爲に最慘酷なる死を遂げ給ひしを思ひ、彼の御子が異教人に輕しめらるるを許し給はざれ。却つて主の聖衆の祈禱を容れ、御子の妻と稱へらるる聖會の祈禱を容れ、御哀憐に由りて彼等の拜像と不信とを忘れ、其の忝けなくも遣はし給ひし主イエズス・キリストを、彼等にも遂に識らしめ給へ。キリストは我等の拯救と生命と復活にて、我等はキリストに由りて救ひ助けられたり。願はくは萬代に至るまでキリストに光榮あらんことを。アメン。

37 日本國民の感化を求むる祈禱

吁、輝ける曉の星なる聖マリアよ、御身は嘗て先驅として地上に現れ、正義と眞理との太陽なる、イエズス出現の接近を示し給ひし者なれば、願はくは御身の溫和なる光を

以て、日本國民を照らし、彼等をして速かに其の心の蒙を啓き、永遠の光明なる御身の子、我等の主イエズス・キリストを正しく認むるに至らしめ給はんことを。アメン。

38 父母の爲にする祈禱

天に在します我等の父よ、主は我等に父母を尊敬ふべしと命じたまひ、これを愛せしめ、其の需用を充たさしめ、これが爲に祈らしめ、子たるの道を盡くさしめ給ふ。主は限りなき慈愛と正義とに因りて、親のために子を愛し給ふことあり、親の罪を子に報い給ふことあれば、われ父母の主に受けたる御恩惠を感謝し、その犯したる罪の赦免を願ひたてまつる。父母は主の代理として我を生み、且、われを育てんがために苦勞、艱難を凌ぎたれば、われをして之を報ゆるを得せしめたまへ。また主みづから之に報いたまへ。願はくは其の靈魂と肉身をたすけて幸福に存へしめ、主がいにしへの太祖に約束し給ひし御恩惠を彼等にも施したまへ。而して此の世に於いて自ら善業の功績を積み、且子孫の德行を見て喜びたる後、終には子々孫々ともに永く主の尊前に樂しむを得せしめ給へ。アメン。

39 子女の爲に父母の祈る文

天に在します我等の父よ、我、主の恩惠に因りて賜はりたる此の子女を、謹みて主に托せ奉つる。願はくは主みづから之が神、之が父となり給へ。御慈悲を以て我が孱弱と怠惰とに由れる乏しきを補ひ給へ。世の腐敗に克ち、內外の惡しき誘引を防がんが爲に彼等を强め、私なる謀計より彼等を救ひ給へ。尙、聖寵を其の心に濺ぎ、聖靈の賜物を施し給ひて、日々に御心に協はしめ、且イエズス・キリストを辨へ愛せしめ、此の世に於いては熱心に主に事へ、後の世に於いては主の尊前に喜ぶを得せしめ給はんことを、主と聖靈と共に永遠に統治し給ふ、我等の主イエズス・キリストの御功德に由りて願ひ奉つる。アメン。

40 聖家族に對し奉る祈禱

最愛しみ深きイエズス、主は妙なる善德と家庭生活の鑑とを以て、地上に選み給ひし一族を聖ならしめ給へり。今主の足下に平伏して、御愛憫を願ひ奉つる我等の家族を、寛仁を以て顧み給へ。此の家族は特に自己を主に獻げ、且托せ奉つりたれば、主の物なるを憶え給へ。願はくは慈悲を以て之を守り、危險より救ひ、必要の時にこれを助け、且德を賜ひて、絶えず主の聖族に倣はしめたまへ。而して生涯忠實に主を敬ひ愛し奉つりて、遂に天堂に於いて永遠に主を讃美するを得せしめ給へ。

いとも甘美なる母マリア、我等は神なる御獨子の、必ず御祈禱に應じ給ふべきを固く信じて偏に御扶助を乞ひ願ひ奉つる。いとも永福なる聖祖ヨゼフ、堅固なる御保護を以て我等を助け、且、我等の祈願をイエズス・キリストに獻げんため、これを聖マリアの御手に傳へ給へ。

41 聖體を訪ひ奉る時の祈禱

（聖アルフオンソの文）

我が主イエズスよ、主は人々を愛しみ給ふにより、晝夜聖體の祕蹟中に在し、哀憐と仁慈、滿ち溢れて人々を招き、總べて主を訪ひ奉る者を惠み給ふ。我此の祕蹟中に主の實に在すを信じ、凡て我に施し給ひし御恩、特に此の祕蹟を以て御身を我に與へ、聖母マリアを我が代禱者となし、且、今我を主の尊前に至らしめ給へるを謝し奉つる。

我いま御惠に感じ、仁慈深き聖心を恭しく拜禮し、一には主が此の聖體の祕蹟を定め給ひし御惠を謝し、二には聖體の中にありて受け給ひし凌辱を贖ひ、三には聖體の中に主を敬ひ認めざる人々に代りて、主を拜み奉つらんとす。

我が主イエスよ、我一心に主を愛し、今まで屢々主の限なき恩澤に背きしを悔み、以後聖寵の扶助に因りて、最早主に背くまじと決心し奉つる。我拙き者なれども、我が身を全く獻げ、意をも、愛情をも、望をも、持物をも、悉く主に托せ奉つる。願はくは

聖旨の儘に計ひ給へ。唯主を愛し、死する迄耐へ忍びて、聖旨を全く遂げんことを願ひ奉つる。又煉獄の靈魂を救ひ、殊に聖體と聖母マリアを深く尊みたる者をば救ひ給へ。憫然なる罪人をも憐み給へ。終に我が愛情を主の聖心の愛情に合せて、之を永遠の御父に獻げ、聖父の之を納れ、且全うし給はん事を主の聖名に由りて願ひ奉つる。アメン。

42 聖體に對する聖トマの祈禱

麵麭の形の中に眞に在ます隱れたる天主、いま恭しく尊前に拜禮し奉つる。我が心は主を思ふの力足らざるにより、己を全く主に隨はせ奉つる。

茲に今、見、觸れ、味はふ所にては、其が果して主なるや否やに惑へども、唯、耳に聞ける所に因りて確く信ずるを得るなり。我は天主の御子の宣ひしことを悉く信じ奉つる。此の眞理の言葉に優る眞は世にあることなし。

十字架上にては天主たるの性のみ隱れしかど、茲にては人たるの性も共に隱る。されど我兩つの性の共にあるを信じ、且これを公言し、カルワリオにて悔い改めし盜賊の願ひしことを我も願ひ奉つる。

我はトマの如く御傷を見ざれども、主の我が神なるを公言して憚らず。願はくは我をして主を益々厚く信じ、主を望み、主を愛するを得せしめ給へ。我が主の死去の紀念として人に生命を與ふる生けるパンよ、我が心を汝に因りて存へしめ、何時も其の甘き味を覺ゆるを得せしめ給へ。御體もて我等の清淨を護り給ふ主なるイエズスよ、御血の一滴を以てしても、世の凡ての罪を救ふを得給へば、汚れたる我を御血を以て清め給へ。

我が今帷帳の中に見奉つるイエズス、願はくは我が渴するごとく望む所を得せしめ給へ。即ち顯に主の御顏を見奉つり、御榮を仰ぐを以て幸福ならしめ給へ。アメン。

43 降福祭の間の祈禱

我等の天主たる救主に在ます主よ、主はその拜すべき御體と、尊むべき御血とを祭壇

の至聖なる祕蹟に籠らしめ給ひしにより、我等深き尊敬を盡くして主をこの祕蹟の中に拜禮し、且主がこの祕蹟に依りて我等に施し給ふ凡ての御惠を謹みて感謝し奉つる。

主は此の祕蹟に在しまして凡ての祝福の泉となり給へば、我等は今、我等のため、又我等が祈らんとする凡ての人々の上に主の祝福を乞ひ求め奉つる。願はくは何物も主の祝福の流るる泉を止むること能はざれば、主の聖心に叶はざる事を、凡て我等の心より取り除き給ひて、我等の罪を赦し、我等をして主を愛するために、心より罪を嫌ふを得せしめ、我等の心を淨め、靈魂を聖ならしめ、主が御昇天に當りて弟子等を離れつつ、彼等に認めしめ給ひし掩祝を我等にも下し給へ。

願はくは主の祝福に依りて我等を新ならしめ、我等をして主に全く一致せしめ、主の聖靈を滿たし、而して此の世より主の選び給へる者に備へたる、祝福の確なる保證となり給へ。嗚呼、我等の救主に在します主よ、我等は主の慈悲によりて、必要なる一切の祝福を得ざれば主の尊前を離れざるなり。

願はくは主の御惠をもつて罪を痛く怖れしめ、主の愛とその恩寵とを賜ひて、諸聖人の如く生き、且死することを得せしめ給へ。

吁、我等の主よ、我等の家族と、主が我等に祈ることを求め給ふ者のために、齊しく御惠を望み奉つる。

我等は聖會と邦家の爲に主の御攝理の冥助を求め奉つるが故に、平和と一致との尊き聯ぎを保たしめ給へ。

願はくは、主の聖き御名を全世界に認めしめ、拜禮せしめ、且愛せしめ給へ。苦しむ者をば慰め、不信の者、迷へる者をば照らし、罪人をしてその靈魂の恐しき危險を悟らしめ、頑き心を和げ、彼等をして皆主に立ち歸ることを得せしめ給へ。

又正しき者にはその正義の道に耐へしめ、死する者には主の愛の裡に呼吸絶えしめ、煉獄の靈魂の苦惱を減じ、遂に我等の凡ての祈願を聞き入れ給ひて、我等をして總べて主の永遠の祝福の保證を、此の世に於いても受くるを得せしめ給はん事を。アメン。

44 聖體降福祭の時の顧告

天主、祝せられ給へかし
聖なる聖名、祝せられかし
眞に神たり人たるイエズス・キリスト、祝せられ給へかし
イエズスの聖名、祝せられかし
イエズスの至聖心、祝せられ給へかし
イエズス、祭壇の至聖なる祕蹟に於いて祝せられ給へかし
天主の聖母、至聖なる童貞女マリア、祝せられ給へかし
聖にして原罪なき御やどり、祝せられかし
童貞なる聖母マリアの聖名、祝せられかし
其の淨配なる聖ヨゼフ、祝せられかし

天主、其の諸天使、諸聖人に於いて祝せられ給へかし

45 願望の聖體拜領の祈禱

主よ、われ主が此の聖體の中に籠り在します事を信じ、主を愛し、主を望み奉つる。伏して願はくは、我が心に降り給へ……われ主を抱き、主に我が身を全く一致せしめ奉つる。我に遠ざかり給はざれ。魔鬼より救ひ給へ。アメン。

願望の聖體拜領の祈禱

46 イエズス受難の祈禱

嗚呼、天主、主は世を贖はんがために此の世に降誕せられ、割禮を受け、ユデア人に捨てられ、不忠なるユダのために接吻を以て敵に賣られ、縛を受けて罪なき羔の如く屠場に曳かれ、アンナ、カイファ、ピラト、ヘロデの前に侮り嘲られ、僞證人の誣ひ訴ふる所となり、鞭うたれ、辱しめられ、唾せられ、頰を打たれ、茨を被らせられ、蘆にて

イエズス受難の祈禱

敲かれ、面を覆はれ、衣を剝がれ、十字架に釘附けられて盜賊の間に擧げられ、酢と苦膽を飲ませられ、槍にて突かるるをも甘んじ給へり。主、願はくは、我等の身に餘りて忝けなき此の尊き御苦難と、聖なる十字架と御死去とに因りて、我等に地獄の苦惱を免れしめ給へ。又、主と共に磔刑にせられたる盜賊を導き給ひし處へ我等をも導き給へ。聖父と聖靈と共に永遠に生き、且、統治し給ふ主なる哉。アメン。

47 イエズスの聖心に向ひ奉る祈禱

我が主イエズス・キリスト、主は御死去の後、槍にて脇腹を刺され給ひ、近くは又御仁慈を示さんとて、マルガリタ・マリアに現はれ、忝けなくも聖心を啓き給へり。

抑々御脇腹の傷より流れ出でし血と水は、我が救靈の源、聖寵榮福の泉にして、聖會の祕蹟に由り、其の功德を以て我が心の汚穢を洗ひ、我等の靈魂を養ひ給ふものと信じ奉つる。嗚呼、聖心より出づる恩惠は聖なる哉。我いま謹みて聖心を拜み奉つる。

我が主イエズス・キリスト、御脇腹の傷は聖心を啓きて、我が救靈の爲に苦難を受け給へるを顯し、聖寵の流るる道と、聖心に依托むべき道とを開き給へるものと信じ奉つる。主の聖心はイエルザレムの聖堂よりも、モイゼの聖櫃よりも甚だ聖なり。故にわれ主の聖心に依托み、世の娛樂を遠ざけ、名譽や財產をも輕んじ、一へに主の聖心に我が心を獻げ奉つる。

我が主イエズス・キリスト、主は使徒に宣はく「我は心柔和にして謙遜なる者なり」と。これ至つて眞なる御言なる哉。即ち主の聖心は柔和、謙遜、堪忍、慈愛等の善德の源なり。主は惡黨の手に捕へられ、痛く嘲けられ、廉術者と呼ばれ、御面に唾せられ、打擲かれ、十字架に釘つけられ給へども、却つて天主なる御父に、其の惡黨輩の罪の赦されん事を願ひ、羔の如く聲をも出さず、犧牲となり給へり。其の柔和、謙遜、堪忍、慈愛の深きことは窮りなし。いま其の善德を讃美し、敬ひ拜み奉つる。我も主の聖心を龜鑑として他人の凌辱を恕し、我に仇する者をも愛し、日々の艱苦を聖心に獻げ奉つる。

我が主イエズス・キリストの聖母童貞マリアよ、なんぢは極めて主の聖心にかなひ給ふに因り、請ふ、われをも導きて主の聖心にかなはしめ、我が心を守りて清淨潔白ならしめ給へ。アメン。

48 イエズスの聖心に家庭を獻げ奉る文

至聖なるイエズスの聖心よ、主は嘗て聖女マルガリタ・マリアに、キリスト信者の家庭に王たり度き望を明し給へり。我等は今日、主の聖旨に叶ひ奉つらんとて茲に集り、主が我等の家庭の上に、絶對主權を有し給へる事を宣言し奉つる。我等は今より主の御生活に倣ひ奉つらんと欲す。主が現世に於いて平和を得るに必要なりと定め給ひし諸德の花を、我等の家庭に咲き香はせんと欲す。又主の擯斥し給ひし世間的精神をば、遙に我等の間より遠ざけんと欲す。願はくは我等の信仰を率直ならしめて、我等の智慧に王たり給へ。ただ主獨を愛せしめて我等の心に王たり給へ。我等は屢々聖體を拜領して、

主の愛の熱氣に燃え立ち、其の炎々たる火焔を、何時までも失はざらんと欲す。

神聖なる聖心よ、我等の團欒に座長となり給へ。我等の精神的及び物質的事業を祝し給へ。禍殃を遠ざけ給へ。喜悅を神聖くし給へ。困苦を和げ給へ。我等の中に、主の御胸を痛め奉つるの不幸に陷る者あらば、何卒主が悔悛むる罪人に對して、慈悲、哀憐に充ち溢れさせ給ふことを思ひ出さしめ給へ。

終に我等の家庭が死別の不幸に遭ひ、悲哀の雲に閉ざされん時は、去る者も留る者も、總べて主の永遠の御定に服從し奉つる。一度は全家擧りて天國に相集り、主の御光榮、主の御惠を、永遠に讃美し奉つらん日の來るべきことを思はば、以てみづから慰むるに餘あるなり。

願はくは聖母マリアの汚れなき御心と、光榮なる太祖聖ヨゼフとは、此の奉獻を主の尊前に傳達ぎ給へ。我等をして、今日の此の記憶すべき出來事を、一生涯忘れざらしめ給へ。我等の王にして父なるイエズスの聖心は、代々に活き且統治し給へ。アメン。

49 イエズスの聖心に日本公教會を奉獻する文

最も慈悲深きイエズスよ、主は人々の愛に燃え立ち給ひ、聖心に馳け寄り奉つる者を誰とて斥け給ふ事なく、又靈魂の助かりを痛く望ませ給ふ。願はくは日本公教會の信者たる我等が、我が國の教會の爲に、呈し奉つる祈禱を聽き容れ給へ。

主は我等の罪の爲に贖となり、十字架に釘付けられ、双手を開きて「我、渇く」と叫ばせ給ひ、聖心の靈魂に對する大なる渇を告げさせ給ひしより、殆ど二十世紀經過せり。然るを我が日本國民は多大の恩惠に浴し乍も、今だに主を認め奉らず、三百年の間主の愛の爲に悅びて命を捧げし者、數あるに拘らず、今なほ聖父と聖靈と共に唯一の生ける眞の神なる主を斥けて、憐にも空しき神々を禮拜するなり。彼等は心を頑にして、聖心の勸、及び福音を告ぐる者の聲を聽かざるなり。尙主を認め奉つるとは云へ、ペトロの上に建て給ひし聖會を輕んじ、主の羊を托せられたる牧者に從ふ事を拒む者多し。

嗚呼、主は赦を與へ、哀憐を垂れて、以て特に其の全能を現し給ふにより、伏して願はくは我等を憐み給へ。主は「總べて我に來れ」と曰ひ、且は槍にて貫かれし聖心をば、救靈の港として開き給ひたれば、何卒人の助を全く賴みにし能はざる我等を顧み給へ。

我等のために戰ふ者は、我等の神なる主の外にあることなし。至善なるイエズスよ、我等は深く賴むの心を以て、主の聖心に依りすがり奉つる。我等は主のものなり、また主のものたらんと欲す。我等は主の十字架を負ひ、我等の困難を主と共に耐へ忍ばんと欲し、我が身も、我が所有物も、すべて至愛なる聖心に恭しく偏に獻げ奉つる。主よ、願はくは、總べての人々の中に活き給へ。また我等總べてを主に於いて活かしめ給へ。熱心なる者を新にし、よろめく者を强め、罪人を改心せしめ、冷淡なる者を溫め給へ。信仰と愛との一致をば、聖心に從ひて完全に保たしめ給へ。

尙、主の御國に入らざる凡ての我が同胞をも、至聖なる聖心に捧げ奉つる。主よ、彼等もまた御手に造られたる者にして、主の聖き御血を以て贖はれし者なり。心より立ち

歸りて全く主のものたるに至らしめ、主の限りなき御哀憐を、我等と共に永遠に歌ふ事を得せしめ給へ。

主の汚れなき御母の御心と、我等が日本公教會の擁護者と仰ぐ、大天使聖ミカエル、日本に始めて主の御名を傳へたる聖フランシスコ・ザヴエリオ、並びに我が國の天國に送りし殉教者等の傳達を以て切に願ひ奉つる。

總べて賴み奉つる者に對して、恩惠豐かなるイエズスの聖心よ、願はくは我等の望を受け容れ、哀憐を垂れて之を聽き容れ給へ。アメン。

50 イエズスの聖心に人類を獻げ奉る文

人類の贖ひ主にて在しますいとも甘味なるイエズスよ、恭しく主の祭壇の下に平伏し奉つる我等を顧み給へ。我等は主のものなり、又主のものたらんと欲す。されば共、なほ堅く主に結び著けらるるを得ん爲、今更に各々進んで至聖なる聖心に身を獻げ奉つる。

人々の內には未だ主を知らざるもの多く、又主の誡を輕んじて、主を棄て奉つりしもの多し。いとも慈悲深きイエズスよ、是等の者を皆憐み給ひて、悉く主の聖心に引き寄せ給へ。主よ、乞ひ願はくは、嘗て主を遠ざかりし事なき信者に王たるのみならず、主を離れ奉つりたる放蕩兒にも王たり給へ。彼等をして難儀と饑餓とに滅ぶるを免れしめん爲、早く父の家に歸らしめ給へ。謬說に迷はされし者、或は不和の爲主を離れし者にも亦王たり給へ。彼等をして、眞理の港と信仰の一致とに復らしめ、軈て一つの群、一つの牧者となるを得せしめ給へ。偶像教、或は回々教の暗に未だ沈み居る總べての人々に王たり給へ。彼等をして、御國の光に引入れる事を否ませ給はざれ。尙また久しき間、主の選民たりし者の子等を、愛憐の御眼にて見行し、嘗て彼等が、我が身に懸れかしと祈りし主の御血を、願はくは救靈と命の慈雨として、今も彼等の上に降し給はん事を。主よ、主の聖會には無事と安全なる自由とを賜ひ、萬民には秩序ある安和を賜ひて、地の兩極の間に一つの聲の鳴り渡るを得せしめ給へ。即ち、我等に救靈を得させ給ふ神の

聖心の讃美せられ、世々に榮光と高貴と有らせ給へかし。アメン。

51 聖心の侮辱を償ふ決心の祈禱

いとも聖なるイエズスの聖心よ、我は我が身の愛と忠實とを加へ、以て、主が多くの人々より辱しめらるるを償はんために、深き謙遜を以て御前に平伏し、卑しき我が身を新に聖心に捧げ奉つる。

我は今、聖心に次の如き約束をなし奉つる。

我が心を聖ならしめ給ふ聖心よ、世の人々が、主の御寵の妙理を辱しめ奉つる程に、我は聖心の妙理を深く信じ奉つる。

人類の唯一の希望なる聖心よ、不信の暴風雨が、我が希望を奪はんとする程に、我は主に希望し奉つる。

限りなく愛すべき聖心よ、世の人々が、主の天主たる愛の表現を拒む程に、我は主を

深く愛し奉つる。

天主の聖心よ、世の人々が主の神性を否む程に、我は主を拜禮し奉つる。

いとも聖なる御心よ、主の聖なる戒律が忘れられ、背かれる程に、我は之を守らんと決心し奉つる。

慈豆なる御惠を與へ給ふ御心よ、主の聖なる祕蹟が輕んぜられ、忘れられる程に、我は愛と敬虔とを以て、主の祕蹟を受けんと勵み奉つる。

凡ての聖德の模範なる聖心よ、主の崇むべき德の見棄てられる程に、我は主の聖德に倣はんと決心し奉つる。

靈魂の救をあつく望まれ給ふ聖なる御心よ、惡魔が靈魂を亡ぼさんとする程に、我は多くの人々の救靈のために勵まんと決心し奉つる。

恥辱に飽かされたる聖心よ、傲慢や世の快樂のために、世の人々が自己の務を忠實に盡くすを厭ふ程に、我は己に打克ち、犧牲の心を養はんと決心し奉つる。

甘味なる聖心よ、世の人々が主の聖會を輕蔑する程に、▲我は聖會の忠實なる子たらんことを勵み奉つる。

槍にて貫かれたる聖心よ、世の人々が、此の世に於ける主の代理者たる教皇を迫害する程に、▲我は彼に依賴し、彼の爲に祈らんと決心し奉つる。

祈願せん

我等の神たるイエズスの聖心よ、我等をして、此の世の生涯に於いては聖心のために勵ましめ、後の世に於いては榮耀とならしむるやう、我等に聖寵を降し、我等が弱さを强め給へ。アメン。

52 イエズスの聖心の連禱

主、憐み給へ。
▲キリスト、憐み給へ。

主、憐み給へ。
キリスト、我等に聽き給へ。
▲キリスト、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
天主たる聖父　我等を憐み給へ。
世の贖ひ主たり天主たる御子　同
天主たる聖靈　同
一天主なる聖三位　同
永遠の父の聖子なるイエズスの聖心　同
聖靈に依りて童貞母の胎内に造られたる耶蘇の聖心　同
神の御言葉と合體せるイエズスの聖心　同
限りなき威光あるイエズスの聖心　同
天主の聖堂なるイエズスの聖心　同

最高き者の住家なるイエズスの聖心　同
天主の家、天の門なるイエズスの聖心　同
愛熱の燃ゆる竈なるイエズスの聖心　同
義と愛の寶藏なるイエズスの聖心　同
善良と慈愛とに充ち滿てるイエズスの聖心　同
萬づの德の淵なるイエズスの聖心　同
最も賞讃すべきイエズスの聖心　同
總べての心の王と中心なるイエズスの聖心　同
智と識との總べての寶を含めるイエズスの聖心　同
充ち滿てる神性の住まひ給ふイエズスの聖心　同
御父の意に善く叶ひ給ふイエズスの聖心　同
我等みな其の溢れを蒙れるイエズスの聖心　同

我等を憐み給へ。

長への山の望なるイエズスの聖心　同
忍耐にして慈悲深きイエズスの聖心　同
凡て賴み奉る者に對して惠み饒なるイエズスの聖心。　同
生命と聖德との泉なるイエズスの聖心　同
我等の罪の贖なるイエズスの聖心　同
侮辱に飽かされたるイエズスの聖心　同
我等の罪の爲に碎かれたるイエズスの聖心　同
死に至るまで從順なりしイエズスの聖心　同
槍にて貫かれたるイエズスの聖心　同
總べての慰藉の泉なるイエズスの聖心　同
我等の生命及び復活なるイエズスの聖心　同
我等の安寧及び和睦なるイエズスの聖心　同

罪人の犠牲なるイエズスの聖心　我等を憐み給へ。
希望し奉つる者の救なるイエズスの聖心　同
御身によりて死する者の希望なるイエズスの聖心　同
諸聖人の樂なるイエズスの聖心　同
世の罪を除き給ふ神の羔　主、我等を赦し給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔　主、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔　我等を憐み給へ。
心の柔和、謙遜なるイエズス　我等の心を聖心に肖らしめ給へ。

祈願せん。全能永遠にて在します天主、いと愛しみ給ふ御子の聖心を見行し、罪人の爲にその獻げ給ふ讃美と償とを顧み給ひて、これに宥められ、御憐みを求め奉つる者に救を賜はんことを、主と聖靈と偕に、世々生存へ知ろし召し給ふ、此の御子イエズス・キリストの聖名に依りて願ひ奉つる。アメン。

53 聖靈の降臨を望む祈禱

聖靈來り給へ。天より御光の輝きを發ち給へ。
貧しき者の父、恩惠の施與主、心の明にます者來り給へ。
最優れたる慰め主、靈魂に甘露なる珍客、精神を爽快にする清涼藥。
勞れたる時の憩、暑き時の涼み、憂ふる時の慰。
至つて福なる光よ、主を信ずる者の心に來り充ち給へ。
主の扶助あるに非ざれば、人には全體罪ならざる所なけん。
乞ひ願はくは汚れたるを清め、乾けるを潤し、傷つけられたるを癒し給へ。
硬きを靡かせ、冷えたるを暖め、曲れるを直くし給へ。
主を賴む信者に神聖なる七つの恩惠を施し給へ。
善德の功を積み、救靈の域に至り、永遠に歡ぶを得せしめ給へ。アメン。

54 聖ベルナルド聖母に祈る文

慈悲深き童貞マリア、御保護に依り縋りて御扶助を求め、敢へて御傳達を願へる者、一人として棄てられしこと、古へより今に至るまで世に聞えざるを憶ひたまへ。嗚呼、童貞中の童貞なる聖母、我之に由りて頼もしく思ひて走せ來り、罪人の身をもて尊前に咲き奉つる。嗚呼、イエズスの御母、我が祈禱を輕んじ給はず、哀憐を垂れて之を聞き給へ、之を聞き容れ給へ。アメン。

55 聖アロイジオ聖母に祈る文

嗚呼、我が元后、童貞聖マリア、我は聖き御保護と、特別なる御守護との下に我が身を置き、今日、毎日、又臨終の時、我が靈魂と肉身とを、憐み深き御手の中に托し奉つる。我が一切の希望と喜悦、困難と悲歎、生涯と最後とを爾に捧げ、至聖なる御傳達と

御功徳とによりて、何事を爲すにも、爾と御子との聖意のみを考へ、且求むるやう願ひ奉つる。アメン。

56 聖母の悲哀に對する祈禱

御子の磔けられ給へるや、悲しめる母は、涙に咽びて十字架の下に佇めり。

歎き、憂ひ、悲しめる其の靈魂は、鋭き刄にて貫かれたり。

天主の唯一人なる御子の尊き母が憂ひ悲しみ給へるは、吁、幾許ぞや。

尊き御子の苦痛を見給へる、仁慈深き母は悲哀に沈めり。

キリストの御母の斯く惱に逢ひ給へるを見て、誰か涙を濺がざる者あらんや。

キリストの御母の斯くその御子と共に苦み給ふを見ては、誰か悲まざる者あらんや。

聖母はイエズスの、己が民の罪のために責められ、鞭うたれ給へるを見、また最愛の御子の息絶々に悶え惱み給へるを見たり。

聖母の悲哀に對する祈禱

仁慈の泉なる母よ、我をして御悲哀の程を感ぜしめ、共に涙を流さしめ給へ。
我が心をして天主キリストを愛する火に燃えしめ、一に其の御心に協はしめ給へ。
吁、聖母よ、十字架に釘付けられ給へる御子の傷を、我の心に深く貫かせ給へ。
我の爲に斯く苦しみ、傷つけられ給ひし御子の苦痛を我に分かち給へ。
生命のあらん限り、汝と共に涙を流して、われにも磔けられ給ひしイエズスを勞るを得せしめ給へ。
我、十字架の側に汝と立ちて、相共に歎かんことを望む。
童貞の中いとも優れたる童貞、願はくは我をしりぞけ給はずして、ともに歎くを得せしめ給へ。
我にキリストの死を負はし、其の苦難を共にせしめ、其の傷を思ひ運らさしめ給へ。
御子の傷を我に貫かしめ、其の十字架と血を以て我を醉はしめ給へ。
聖なる童貞女よ、地獄の火に我が焚けざらん爲、審判の日に我を守り給へ。

嗚呼、キリストよ、我が此の世を去らんとするに當りてや、御母に賴りて勝利の報を得せしめ給へ。
肉身は死して朽つるとも、靈魂には天堂の永福を蒙らしめ給へ。アメン。

57 聖マリアに身を獻ぐる文

天主の母にして我等の母なる童貞マリアよ、爾は造られし物の中に比儔なくして、且善德の龜鑑なれば、我御膝下に平伏して、爾が天主より惠まれ給ひしを讃美し、謹んで我が身を獻げ奉つる。
尙諸聖人、諸天使の常に盡せる尊敬と愛とを獻げんと欲すれども、能はざるに因り、責めて力の有らん限り讃美し、且、事へ奉らんと欲し、守護の天使、諸聖人の前にて、一心に尊み敬ひ、我が慈しき母、我が元后、我が保護者と仰ぎ賴み、我が肉身と五官、我が靈魂と智慧、並びに我が愛情、我が生命をも托せ奉つる。

我、生涯聖母の子たるを樂しみ、聖母の僕たるを高き位よりも重んじ、御名を讃め、御恩惠を人に顯し、偏に事へ奉つらん。願はくは此の志望を憐みて、之を果すを得せしめ給へ。聖母は絶えず我等の事を思ひて、恩惠を與へんと計り給へば、我いかで一日も忘るるを得べけんや。吁、聖母、我を守り給はば、我に足らざる所なからん。故に此の涙の谷より御扶助を偏に仰ぎ頼み奉つる。

吁、聖母よ、凶しき蛇あり、絶えず謀計を運らして我を傷つけ、害はんとせり。爾、彼の蛇の強くして、我が弱きを疾より知り給へば、何時にても何處にても我を棄て給はず、御足もて彼が頭を踏み摧き給へ。

吁、聖母よ、浮世の波風は常に吹き荒みて、我を漂はし淪めんとす。爾、海路の難うして我が危きを遙に見給へば、乞ひ願はくは希望の星となり、終りなき安樂の港へ我を導き給へ。終に諸聖人と共に限りなく御名を讃め、御惠を謝し、共に天主を愛し、且、仰ぐを得せしめ給はんことを、聖母の愛と慈悲に因りて願ひ奉つる。アメン。

58 聖ヨゼフに祈る文

（十月中ロザリオの祈禱に之を加ふ）

多福なるヨゼフよ、我等、困難の中に於いて爾に依靠り、且已に爾のいと尊き淨配の扶助を求めたれば、また爾の保護をも頼もしく願ひ奉つる。爾は天主の聖母たる汚玷なき童貞と結び合ひたる寵みあり、幼きイエズスに盡したる父の愛あれば、亦イエズス・キリストが其の血を以て買ひ得たまへる家督を一層憐みて顧み、且總べて我等の急に迫れる時、助力と扶助とを下し給はんことを伏して願ひ奉つる。

ナザレトの聖家族のいと忠實なる守護者よ、イエズス・キリストの選裔を守り給へ。仁慈深き父よ、我等のために諸々の迷誤と腐敗の傳染を防ぎ給へ。いと強き保護者よ、我等が闇の權威と戰ふを憐みて、天より扶助を垂れ給へ。又むかし幼きイエズスを命の危險より援ひしごとく、今も天主の聖會を守りて、敵の圏套と總べての困難を免れさせ給へ。且、常に我等を盡く保護し、我等をして爾に倣はしめ、御扶助に頼りて聖にして

存へ、信心を以て死し、天國の永遠なる福樂に至ることを得せしめ給へ。アメン。

59 聖ヨゼフに向ふ祈禱

童貞者の擁護にして、且父なる聖ヨゼフよ、御身は無罪その物に在しますイエズス・キリストと、童貞中の童貞なる聖マリアとを、忠實なる擁護の下に托せられ給ひき。この二つの最愛なる寄托者、イエズスとマリアとによりて切に願ひ奉つる。何とぞ、我を總べての不淨より防ぎ、精神は汚れず、心は潔よく、身は清く、常に至淨、至潔、以てイエズスとマリアとに事へしめ給へ。▲アメン。

60 聖ヨゼフの連禱

主、憐み給へ。
▲キリスト、憐み給へ。

主、憐み給へ。
キリスト、我等に聽き給へ。
▲キリスト、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
天主たる聖父　我等を憐み給へ。
世の贖ひ主たり天主たる御子　同
天主たる聖靈　同
一天主なる聖三位　同
聖マリア　我等の爲に祈り給へ。
聖ヨゼフ　同
ダヴイドの譽高き後裔　同
諸聖祖の光明　同
天主の聖母の淨配　同

童貞マリアの操正しき守護者　同
天主の御子の養育者　同
キリストの注意深き防衛者　同
聖家族の首　同
最も正義なるヨゼフ　同
最も貞操なるヨゼフ　同
最も慎み深きヨゼフ　同
最も勇氣あるヨゼフ　同
最も從順なるヨゼフ　同
最も忠實なるヨゼフ　同
堪忍の鑑　同
清貧の愛好者　同

我等の爲に祈り給へ。

職人の模範　同
家庭生活の榮譽　同
童貞の守護者　同
家庭の柱石　同
不幸者の慰安　同
病者の希望　同
死に臨める人の擁護者　同
惡魔の恐怖　同
聖會の保護者　同
世の罪を除き給ふ神の羔、　主、我等を赦し給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔、　主、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔、　我等を憐み給へ。

天主之を立てて己が一家の主と爲し給ひ、▲其の總べての所有物を宰らしめ給へり。祈願せん。絶妙なる攝理により、福者ヨゼフを至聖なる御母の淨配と選みたまひたる天主、希はくは地上に於いて之を保護者と尊敬し奉つる我等を、天に於いて其の代禱を蒙るに耐ふべき者たらしめ給へ。世々活き統治し給ふ主よ。▲アメン。

61 守護の天使に對する祈禱

我が守護者なる主の天使よ、主が其の御慈悲に由りて、汝に委ね給ひし我を照らし、守り、導き、治め給へ。▲アメン。

62 諸聖人の連禱

主、憐み給へ。
▲キリスト、憐み給へ。

主、憐み給へ。
キリスト、我等に聽き給へ。
▲キリスト、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
天主たる御父　我等を憐み給へ。
世の贖ひ主たり天主たる御子　同
天主たる聖靈　同
一天主なる聖三位　同

聖マリア　我等の爲に祈り給へ。
天主の聖母　同
童貞の中にて最も聖なる童貞　同
聖ミカエル　同
聖ガブリエル　同

諸聖人の連禱

聖ラファエル　同
聖なる諸々の天使及び大天使　同
聖なる各階級の福靈　同
洗者聖ヨハネ　同
聖ヨゼフ　同
聖なる諸々の太祖及び豫言者　同
聖ペトロ　同
聖パウロ　同
聖アンドレア　同
聖ヤコボ　同
聖ヨハネ　同
聖トマ　同

我等の爲に祈り給へ。

聖ヤコボ　同
聖フイリツポ　同
聖バルトロメオ　同
聖マテオ　同
聖シモン　同
聖タデオ　同
聖マチア　同
聖バルナバ　同
聖ルカ　同
聖マルコ　同
聖なる諸々の使徒及び福音史家　同
主の聖なる諸々の弟子　同

聖なる諸々の無辜嬰兒　同
聖ステファノ　同
聖ラウレンチオ　同
聖ヴインセンチオ　同
聖ファビアノ及び聖セバスチアノ　同
聖ヨハネ及び聖パウロ　同
聖コスマ及び聖ダミアノ　同
聖ゼルワシオ及び聖プロタジオ　同
聖なる諸々の殉教者　同
聖シルヴエストロ　同
聖グレゴリオ　同
聖アンブロジオ　同

我等の爲に祈り給へ。

聖アウグスチノ　同
聖ヒエロニモ　同
聖マルチノ　同
聖ニコラオ　同
聖なる諸々の司教及び證聖者　同
聖なる諸々の博士　同
聖アントニオ　同
聖ベネヂクト　同
聖ベルナルド　同
聖ドミニコ　同
聖フランチスコ　同
聖なる諸々の司祭及び侍祭　同

諸聖人の連禱

聖なる諸々の修士及び山修士
聖マリア・マグダレナ
聖アガタ
聖ルチア
聖アグネス
聖セシリア
聖カタリナ
聖アナスタシア
聖なる諸々の童貞及び婦婦
天主の諸々の聖人及び聖女
哀憐を垂れて
哀憐を垂れて

我等の爲に祈り給へ。
同
同
同
同
同
同
同
同
同
我等の爲に傳達をなし給へ。
主、我等を赦し給へ。
主、我等の祈禱を聽き容れ給へ。

總べての惡より
總べての罪より
御怒より
不意の即死より
魔鬼の圈套より
憤怒、憎惡、總べての惡しき心より
邪淫の心より
落雷及び暴風より
地震の災難より
疫病、飢饉及び戰爭より
終りなき死より
聖なる御托身の妙理によりて

諸聖人の連禱

主、我等を援ひ給へ、
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

御降臨によりて　主、我等を援ひ給へ。
御誕生によりて　同
主の領洗と聖なる斷食によりて　同
主の十字架と御苦難によりて　同
御死去と御殯葬によりて　同
聖なる御復活により、て　同
感ずべき御昇天によりて　同
慰め主なる聖靈の御降臨によりて　同
審判の日に於いて　同
願はくは我等罪人なれども　主、我等に聽き給へ。
願はくは我等を赦し給はんことを　同
願はくは我等に哀憐を垂れ給はんことを　同

願はくは我等を眞實の悔悛に導き給はんことを　主、我等に聽き給へ。
願はくは主の聖會を治め保たせ給はんことを　同
願はくは聖教の中に、教皇と教會の各階級をながく保たせ給はんことを　同
願はくは聖會の群敵を愧服せしめ給はんことを　同
願はくは主を奉ずる帝王と諸侯に太平を降し、皆同心一致ならしめ給はんことを　同
願はくは主を奉ずる民に太平と一致を得せしめ給はんことを　同
願はくは總べて謬れる者を聖會の一致に歸らしめ、諸々の異教人を福音の光明へ導き給はんことを　同
願はくは我等を主の聖役に强めて永く保たせ給はんことを　同
願はくは我等の心を高く揚げて天上を望ましめ給はんことを　同

願はくは我等が一切の恩人に、無窮の福祉を以て報い給はんことを
主、我等に聽き給へ。
願はくは我等及び我等の兄弟、親族、恩人の靈魂を永遠の罰より援ひ給はんことを
同
願はくは地の百穀を興へ、且之を保たせ給はんことを
同
願はくは已に世を去りたる凡ての信者に、終りなき安息を與へ給はんことを
同
願はくは我等の祈禱を聽き容れ給はんことを
同
天主の御子
世の罪を除き給ふ神の羔
廟はくは我等に聽き給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔
主、我等を赦し給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔
主、我等の祈禱を聽き容れ給へ。
世の罪を除き給ふ神の羔
我等を憐み給へ。

キリスト、我等に聽き給へ
主、憐み給へ。
キリスト、憐み給へ。
主、憐み給へ。

主禱文

一遍

キリスト、我等の祈禱を聽き容れ給へ。

63 教皇の爲の祈禱

我が教皇(御名)のために祈らん。主、願はくは、教皇を守り、且存へしめ、此の世に於いて幸福ならしめ、敵の手に渡さざらしめ給はんことを。
汝は磐なり。我、此の磐の上に我が教會を建てん。
祈願、總べての信徒の牧者、且、主宰にて在します天主、主の僕なる(御名)を聖會の牧師として之を宰どらしむるを計らひ給ひしに依り、慈悲を以て之を顧み、其の宰どる

ところの人々に、教訓と模範とを以て、益々益せんことを得せしめ、併して、委ねられたる群と共に、永遠の生命に至らしめ給へ。我等の主キリストに因りて。▲アメン。

64 皇國の爲の祈禱

正義と愛とにて在します天主、▲極東の要にして、榮ある長き歴史を有する皇國に、吾等を生れしめ給ひしを、吾等厚く感謝し奉つると俱に、萬世一系の皇室に對し奉つりて常に渝らざる忠誠を致す吾等の赤心を、嘉し給はんことを乞ひ願ひ奉つる。

素より吾等は忠君愛國の精神を以て「上に立てる諸權に服する」のみならず、「人倫を明らかにして親和を致し、公德を守りて秩序を保ち、責任を重んじ、節制を尙び、忠孝、義勇の美を揚げ、博愛、共存の誼を篤うし」皇室の彌榮ならんこと、運國の隆昌、發展とに心を盡くし、意を盡くすものなれば、主の御哀憐によりて、正義と愛とに充ち賢智と誠意との豊なる爲政者を吾等に賜ひて、上下協戮、內外の害惡を芟除し「國家の

興隆と民族の安榮、社會の福祉」とに力を盡くし得るやう吾等に聖寵を垂れ給ひて、常に眞理の光もて總べての人を照らし給はんことを。アメン。

65 聖職者を求むる祈禱

主イエズスよ、主は使徒等に向ひ「收穫は多けれども働き手は少し。故に働き手を遣はされん事を、收穫主なる御父に祈れ」と曰へり。願はくは我等の內より、司祭、若しくは修道者となりて働く者を選び、主の聖會に遣はし給はんことを、我等の母なる至聖童貞マリアの御取次によりて請ひ願ひ奉つる。アメン。

使徒の元后、▲我等の爲に祈り給へ。

66 災難に遇ふ時の祈禱

（聖アウグスチノの作）

主よ、我等主の目前に、我が過誤と受けし疵とを携へ奉つる。我が爲しし惡を考ふれ

ば、忍ぶところ少くして負ふところ多く、犯ししところ重くして忍ぶところ輕し。

我等罪の罰を感ずれども、罪を犯す惡逆を避けず、我が卑陋さは主の鞭にて碎くれども、我が不義は變らず、心は苦痛に惱めども、首靡かず、常に悲哀に歎けども、行爲に改めざるなり。

主、時を延ばし給へば我等改めず、主、報い給へば我等耐へず、主、懲し給へば我等罪を自白すれども、試練過ぐれば涙を忘る。主、御手を伸ばし給へば、我等行爲を約すれども、双を引き給へば約を遂げず。主、鞭うち給へば我等免し給へと叫べども、主、免し給へば、更に鞭うち給ふべく挑み奉つる。

主よ、自白する罪人御手に在り。赦し給ふに非ずば、當に亡ぶべき事は我等の知る所なり。全能にて在ます父よ、主に祈るべきものを無より造り給ひしなれば、功なくして願ふ所を賜はん事を、我が主キリストによりて願ひ奉つる。

主よ、願はくは我等の罪に從ひて、我等を處分し給ふ事なく、我等の不義に從ひて、

我等に報い給はざらん事を。

祈願、罪を以て背かれ、悔悛を以て宥められ給ふ天主、伏して乞ひ奉つる。主の民の祈を慈悲を以て顧み給へ。又、我等の罪によりて觸るべき御怒より出づる災難を免れしめ給はん事を、我が主キリストによりて願ひ奉つる。アメン。

67 死に臨める罪人の爲にする祈禱

我が神よ、今日、全世界に於いて執行せらるべきミサ聖祭を悉く、臨終に在りて當日死すべき罪人のために主に獻げ奉つる。願はくは、贖ひ主イエズスの尊き御血、彼等に慈悲を蒙らしめ給はん事を。

68 完全なる痛悔の祈禱

全能、永遠の天主、我は御誡命を破れる身にて功も德もなき者なれば、尊前に出づる

能はざれども、限りなき御哀憐に依頼み、諸悪の絆に引かされながら、いま尊前に出で奉つる。主は永遠にして廣大なる神、極まりなき善徳の源にて、我等に與へ給ふ恩惠は誠に限りなきにより、須らく萬事に越えて深く愛し、頼もしく思ひ奉つるべきに、却つて様々の罪を犯し、過つて主に背きたれば、今更、御赦を蒙るべき身に非ざるを曉り、犯せし罪をば敢へて陳ぜず、唯罪の重くして其の量の限りなきを告白し奉つる。

されど主の哀憐は、我が罪の深きよりも尚深く、御子イエズスの流し給ひし御血の功徳は、我が罪の大いなるよりも尚大いなる事を知れり。主よ、御言葉に、罪人なりとも罪を悔改めなば、何時にても赦し給ふとあるを思ひ出し、希はくは我が罪を赦し給へ。我が犯せし罪を斯く心の底より悔みて告白し奉つるは、敢へて來世の苦痛を惧るる故に非ず、偏に御仁慈に感じ、榮と善徳の限りなき主に背きしを悲しみ痛めばなり。故に我今より心を改め、重ねて罪を犯して再び御心に背くまじと決心し奉つる。我は罪人なれども、幸ひに御哀憐の眦を廻らし給へ。我が罪の償贖として、御苦難の限りなき功徳を

獻げ奉つる。願はくは御惠を降し給へ。我今イエズスの御血の功徳と、主の深き哀憐に依頼み、罪の赦を希ひ奉つる。我は功も徳もなき者なれど、御子の中に加へ給へ。聖母マリアに此の傳達を頼み奉つる。願はくは此の傳達を聽き入れ給はん事を。アメン。

69 洗禮の時の約束を尋ぎて新にする祈禱

人は洗禮に因りて原罪と自罪の赦免を受け、新に生れて天主の子となるなり。故に洗禮を受けたる日は、實に我等が靈魂上の誕生日なれば、信者たる者は毎年その日に當りて之を祝ひ、其の御恩惠を記念することを忘るべからず。然れば其の日に當りてなるべく告白し、聖體を領け、天主より蒙りたる御恩惠を謝し、また主と結びたる約束を思ひ出し、これを破りしを悔み、心を改めて其の約束を尋ぎて新にし、以後はこれを破らず、益々これを全うせんと決心すべし。

嗚呼、天主、今尊前に平伏して恭しく主を尊み拜し奉つる。限りなき御仁慈に因りて我を造り、且今まで存へしめ給ひしを感謝し奉つる。然れど此の世に存ふるも、救靈を

得ざれば何の益かあらん。又、地獄に投げ入れらるるよりは、寧ろ生れざるに如かず。然れば、御子イエズス・キリストをこの世に遣はして、我等のために救靈の道を備へ、その血を以て我等を贖ひ、また洗禮を定めて我等の爲に、天堂の門を開き給ひしを深く謝し奉つる。

哀憐深き天主、主の我を數多の人の中より選みて、イエズスの教訓と救靈の事を知らしめ、洗禮を施し給ひしは忝けなき恩惠なるかな。我、洗禮に由りて罪を悉く赦され、魔鬼の奴隷たるを免れ、天主の子となり、イエズス・キリストの兄弟となり、天堂の福を受くるの身となれり。嗚呼、如何にして此くの如き御恩惠を報ずるを得べきや。我は取るにも足らぬ者なる故に、イエズス・キリストの限りなき御功德を恩謝として恭しく獻げ奉つる。願はくは之を受け納れ給へ。

天に在します父よ、我は洗禮を受けし時、主の御惠を感じて、惡魔と其の榮華を悉く棄て、天地の創造主なる御父を信じ、我等の爲に苦を受け給ひし御子イエズスを信じ、

聖靈と聖公會を信じて、主に忠を盡くさんとの約束を立てたれば、主は又終りなき生命を與へんことを約束し給へり。

嗚呼、我、此の約束を保ちしならば幸なりしならんに、屢々御恩惠を忘れ、御誡命を破り、聖會の教訓に背き、魔鬼に從ひて種々の罪を犯し、天の父に不幸をなせしかば、大いに慚ぢて一心に之を悔み、御哀憐に身を任せ奉つる。我が神、我が父よ、御哀憐に從ひて我を赦し給へ。我御子と呼ばるるに足らざれども、幸ひに棄て給はずして、主の子たるを得せしめ、天堂の家督を嗣ぐに至らしめ給へ。

我、心を改めて再び罪を犯さず、今までの過失を贖はんと欲し、愼みて主に歸り奉つる。又、御前に平伏し、洗禮の時に爲したる約束を、今また諸天使、諸聖人の前にて新にし、魔鬼と其の業なる罪を棄て、罪に誘ふ魔鬼の榮華をも全く棄て、命のあらん限り三位一神を堅く信じ、忠實にこれに事へ、御心に協ふやうに力を盡くし、萬事に超えて主を愛し、一に主の爲に他の人々を愛せんと約束し奉つる。

吁、天主、是は我が誠に決心する所なれども、御扶助に因らざれば之を全うする能はざるが故に、主の慈悲とイエズス・キリストの功德に由りて、これを賜はんことを偏に願ひ奉つる。哀憐深く、力能はざる所なき天主、我をして、今茲に尋ぎて新にする此の決心を守らしめ、善業の功績を積み、御心に從ひて存へ、而して主の與へんと望み給ふ天國の榮福を得せしめ給はんことを、一心に乞ひ願ひ奉つる。アメン。

70 臨終の時の祈禱

臨終の時の心得及び病者になす勸奬

臨終は此の世に於いて、人の最も大切の時とす。如何となれば、救靈を得るを得ざるとは、偏に此の時の覺悟の善きと善からぬとに由ればなり。然れば、信者は方に臨終に及ぶや、悔悛、聖體、終油等の秘蹟を授からん事を希ふべきのみならず、また信、望、愛の心を起し、熱心に痛悔するを要す。又、他人の臨終に及ばんとする時には、右に云へる如く能く覺悟を爲さしめ、且秘蹟を授からんことを切に勸むべし。司祭、不在にて秘蹟を授かる能はざる時には、病者自身、須らく完全なる痛悔を起すべし。此の時、善く罪を痛悔してイエズスの御名を呼び、或は口に呼ぶ能はずとも、心の中に深く賴まば、敎皇より全贖宥を施さるるものと知るべし。

病者に向ひて、最後の緊要なる勸奬をなさんとする時は、先づその側らに就きて、天主に祈り、次に聖母マリア、及び守護の天使、靈名の聖人を賴み、十字架あらば之を病者に抱かせ、若し手に持つを得ば持たせて左の勸奬をなすべし。

（兄弟よ、我と俱に十字架の記號を畫せ）

✝ 聖父と聖子と聖靈の御名に由りて。アメン。

（天主、茲に在しますと思ひ、汝の靈魂を迎ふるイエズス・キリストを深く賴み、宜しく我が言葉に隨ひて心の中に祈るべし）

嗚呼、天主、われ主の敎訓を悉く信じ、聖父と聖子と聖靈、三位なる一の天主を拜み奉つる。イエズス・キリストの定め給へる聖公會の敎訓を悉く信じ奉つる。

嗚呼、天主の御子イエズス・キリストは我等の爲に生れ、十字架に釘附けられて死し給ひたれば、其の御苦難と御血の功德を以て、我に罪の赦を賜はんことを望み奉つる。願はくは汚玷なき聖マリア、及び諸聖人の傳達に因りて我が罪を赦し、天堂の終りなき生命を與へ給へ。

嗚呼、天主、我に與へ給へる數多の御恩惠を感謝し奉つる。主は我を造り給ひしのみならず、我を救はんが爲に、御子イエズス・キリストを此の世に遣はし給へり。

斯く、天主なる救主は我が罪を贖ひ給はんため、三十三年の間、諸々の艱難、辛苦を受け、遂に十字架に釘附けられて死し給ひ、又我が靈魂の糧として聖體の祕蹟を定め、天堂の終りなき快樂を得させんと約束し給へり。我は斯く蒙れる主の仁慈に報い奉つらんがため、萬事に越えて心の底より主を愛し奉つる。又、天使や聖人の主を敬ひ愛する如く、我も主を敬ひ愛し奉つらんことを願ふ。

我は罪の爲に天主に棄てらるべく、終りなき苦痛を受くべき身なれども、一心に悔み

て御哀憐を乞ひ奉つる。我が罪は如何に深くとも、主の哀憐は尙も深く、イエズス・キリストの御血の功德は尙も勝れたれば、偏に御赦免し願ひ奉つる。我が天の父に背き、イエズス・キリストを十字架に釘附け參らせたるを赦し給へ。

願はくは主、我が爲に流し給へる御血の功德と、汚玷なき聖マリアの御功力に因り、我に眞實の悔を起させて我が罪を赦し給へ。人の我に害を加へたるをば心より赦せば、我が人に害を加へたらん時にも、人より之を赦されんことを冀ふ。

嗚呼、天主、我が痛みも苦みも悲みも、皆共にイエズス・キリストの苦難と合はせて罪の償に獻げ、謹みて我が身と命を御手に托せ奉つる。若し御哀憐に由りて快復するを得ば、益々力を盡くして主に事へんと決心し奉つる。アメン。

傳道師、又は其の他誰にても右の勸奬を讀み聞かせて後、一時病者の室を退き、又時々その床を伺ひて、左に記す所を懇ろに言ひ聞かすべし。然れど、能く心を用ひて病者の氣に逆らはず、これに疲勞を覺えしめざるを可しとす。

嗚呼、天主、廣大なる御哀憐を以て我を憐み給へ。
救主、イエズス・キリスト、われは主に依り賴む者なれば、何の世までも何の恐るる事かあらん。
嗚呼、天主、我が靈魂を御手に托せ奉つる。
最溫和なるイエスズ、御苦難の功德に因りて我を善人を中に加へ給へ。
主イエズス・キリスト、我が靈魂を天堂に導き給へ。
哀憐の母なる聖マリア、我が臨終の時の仇を防ぎ、我を攝取りて助け給へ。
我が守護の天使、我を護り給へ。
天堂の諸聖人、我が爲に祈りて我を助け給へ。

71 病者の爲にする連禱

主、憐み給へ。

▲キリスト、憐み給へ。
主、憐み給へ。
聖マリア
諸々の天使及び大天使
聖アベル
義者の衆群
聖アブラハム
洗者聖ヨハネ
聖ヨゼフ
聖なる諸々の太祖及び豫言者
聖ペトロ
聖パウロ

彼の爲に祈り給へ。
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

聖アンドレア
聖ヨハネ
聖なる諸々の使徒及び福音史家
主の聖なる諸々の弟子
聖なる諸々の罪なき嬰兒
聖ステフアノ
聖ラウレンシオ
聖なる諸々の殉教者
聖シルヴエストロ
聖グレゴリオ
聖アウグスチノ
聖なる諸々の司教及び證聖者

彼の爲に祈り給へ。
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

聖ベネヂクト
聖フランチスコ
聖ヨハネ
聖カミロ
聖なる諸々の修士及び山修士
聖マリア・マグダレナ
聖ルチア
聖なる諸々の童貞及び孀婦
天主の諸々の聖人及び聖女
哀憐を垂れて
哀憐を垂れて
哀憐を垂れて

同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

彼の爲に取次をなし給へ。
主、彼を救し給へ。
主、彼の祈禱を聽き容れ給へ。
主、彼を援ひ給へ。

御怒より
死の危險より
惡しき死より
地獄の罰より
總べての惡より
惡魔の權威より
御誕生によりて
主の十字架と御苦難によりて
御死去と御殮葬によて
御光榮なる御復活によりて
感ずべき御昇天によりて
慰め主なる聖靈の降臨によりて

主、彼を援ひ給へ。
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

審判の日に於いて
願はくは我等罪人なれども
願はくは彼を赦し給はんことを
主、憐み給へ。
▲キリスト、憐み給へ。
主、憐み給へ。

同
主、我等に聽き給へ。
同

72 靈魂、肉身を離れんとする時の祈禱

キリストを奉ずる靈魂よ、汝を造り給へる全能の天主なる御父の御名に因り、汝の爲に苦難を受け給ひし、活ける神の御子イエズス・キリストの御名に因り、汝に沃がれ給へる聖靈の御名に因り、各階級の天使、尊き太祖、豫言者、聖使徒、福音史家、殉教者證聖者、聖なる童貞及び諸聖人の名に由りて此の世を去れ。

願はくは、汝、今日安樂の座を占め、天國の中に住居を得ん事を、我が主イエズス・キリストに由りて祈り奉つる。▲アメン。

最慈悲なる天主、大いなる御哀憐を以て主は痛悔する者の罪を消し、その赦に因りて既往の罪の咎を除き給ふ。願はくは御哀憐を垂れて此の僕を顧み、彼がその罪を一心に懺悔して、悉く赦されんと願ふを聽き容れ給へ。慈悲深き聖父、彼が人間の弱きに因りて汚れ、惡魔の誘引に因りて傷つきたるを悉く醫し、キリストに贖はれたる此の枝を、聖會の本體に合はせ給へ。また僕の叫ぶを憐み、其の涙を憐み給へ。專ら御哀憐をのみ賴むところの此の僕をして、主と全く和ぐの恩惠に潤はしめ給へ。我等の主キリストに由りて之を願ひ奉つる。▲アメン。

いと愛する兄弟よ、我、汝を全能の神に賴み、汝を造り給へる神に托せ奉つる。是は死を以て人生の負債を果せる後、汝をして土にて汝を形づくり給ひし創造主の許へ歸らしめんがためなり。華麗なる天使の隊は肉身を離るる汝の靈魂を迎へ、世を裁くべき使

徒の班は汝に來り、勝れたる殉教者の凱陣は汝を守り、輝ける證聖者の群は汝を圍み、悅び樂しむ童貞者の組は汝を接け、聖祖の懷の中に汝を安らかに入らしめよ。願はくはイエズス・キリスト、優しく悅ばしげなる御姿にて汝に顯れ、汝をして限りなく從者の中に居らしめ給はん事を。願はくは汝、暗黑の中の恐怖、焰の中の切齒、刑罰の苦痛を知らざらん事を。惡魔と其の眷族は汝より退き、汝が天使に伴はるるを見て戰ひ慄きて永遠の闇に逃げ隱れんことを。願はくは天主、起き給へ。主の仇は散り、主を惡む者は尊前より逃げ去り、煙の消ゆる如く消え、罪人は火の前に蠟の熔くる如く尊前に滅び、義しき者は尊前に悅び樂しまんことを。

然れば兄弟よ、地獄の軍勢は悉く耻を抱きて狼狽へ、惡魔も汝の道に當るを恐れん。ねがはくは、汝のために十字架に釘附けられ給ひしキリスト、汝を苦惱より援ひ出し、汝の爲に死し給ひしキリスト、永遠の死より汝を援ひ、活ける神の御子なるキリスト、其の樂園に汝を置き、牧者として汝を其の群の羊の中に護り給はんことを。ねがはくは

汝をして罪、悉く赦され、選まれたる者の中に加へられて主の右に在らしめ、贖ひ主の御顔を仰ぎ、幸ある目を以て明らけく眞理を認め、聖人の中にて永遠の天主に見ゆるの樂みを得せしめ給はんことを。▲アメン。

73 臨終の連禱

主、願はくは哀隣を垂れて賴もしき拯救の場へ　▲此の僕を引き接け給へ。アメン
主、凡て地獄の危險と苦の圈套と諸般の艱難より　▲此の僕の靈魂を救ひ給へ。アメン
主、エノクとエリアを通常の死より援ひ給ひし如く　同
主、洪水よりノエを援ひ給ひし如く　同
主、カルデアのウルよりアブラハムを援ひ給ひし如く　同
主、ヨブを苦難より援ひ給ひし如く　同
主、イザアクを犧牲に供へんとせる父の手より援ひ給ひし如く　同

主、ロトをソドマより出して火の雨より援ひ給ひし如く　同
主、エジプト人の王ファラオの手よりモイゼを援ひ給ひし如く　同
主、ダニエルを獅子の洞より援ひ給ひし如く　同
主、三人の少年を烈しき火の竈より援ひ給ひし如く　同
主、スザンナを妄證より援ひ給ひし如く　同
主、サウロ王及びゴリアトの手よりダヴィドを援ひ給ひし如く　同
主、ペトロとパロウを囚獄より援ひ給ひし如く　同
主、童童にして殉教者なるテクラを、いと酷き三つの苦痛より援ひ給ひし如く、▲此の僕の靈魂を援ひ、主と共に天堂の歡喜を得せしめ給へ。アメン。

最終の祈禱

嗚呼、主よ、我等此の僕の靈魂を主に任せ奉つる、救世主イエズス・キリスト、此の

人の靈魂を救はんが爲に、哀憐を以て天降り給ひたれば、願はくは之を聖祖の懷の中に接くるを拒み給ふこと勿れ。主よ、彼は異る神に造られし者にあらずして、活ける眞の神なる主に造られし者なる事を認めたまへ。蓋は、主の外に神なく、主の御業に及ぶ者絶えて無ければなり。主よ、尊前に於いて彼の靈魂を喜ばせ、私慾の爲に犯したる罪と過誤とを覺え給ふこと勿れ。蓋は、彼罪を犯したれども、聖父と聖子と聖靈を棄てたる事なく、却つて何時も之を信じ、眞心を以て萬物の創造主を尊敬したればなり。

祈願せん。主よ、願はくは彼が若かりし時の罪の迷と過誤とを忘れ、却つて大いなる御哀憐を以て、主の輝ける御光榮の中に彼を認め給へ。天を彼の爲に開き、天使をして彼と共に喜ばしめ給へ。主よ、此の僕を御國に受け取り給へ。

天軍の總督なる大天使聖ミカエルは彼を接け、天主の聖なる使等は彼を迎へて天國に導き、天國の鍵を與へられたる使徒聖ペトロは彼を接け、主の簡選に適ひたる使徒聖パウロは彼を助け、天の祕奥を默示されたる聖ヨハネは彼を取次ぎ、繫ぐと釋くとの權を

與へられたる諸々の聖使徒は彼の爲に祈り、キリストの御名のために、此の世に於いて苦難を受けたる諸々の聖人は、彼が肉身の桎梏を解きて、天國の光榮に入り得させんために取次を爲さんことを、聖父及び聖靈と共に永遠に統治し給ふ我等の主、イエズス・キリストに由りて願ひ奉つる。アメン。

靈魂の、肉身を離れんとする時には、其の親族、朋友等の人々は病者の床を繞りて跪づき、益々熱心に祈るべし。而して、死に臨める人、言ふ能はずば、頻にイエズスの御名を呼び聞かしめ、又左の言葉を屢々繰返して誦ふべし。

主よ、御手の中に我が靈魂を托せ奉つる。

主イエズス・キリスト、我が靈魂を受取り給へ。

聖マリア、我が爲に祈り給へ。

聖寵の御母、憐みの御母に在す聖マリアよ、我を仇より守り、臨終の時に引取り給へ。

聖ヨゼフ、我が爲に祈り給へ。

聖ヨゼフよ、汝の淨配に在します童貞女と共に、天主の御哀憐の中に入るを得せしめ給へ。

74 靈魂、肉身を離れて後の祈禱

天主の聖人は來りて彼を授け、天使は出でて彼を迎へ、彼の靈魂を接け取りて天主の尊前に獻げ給へ。▲汝を招き給へるキリストは汝を接取り、天使はアブラハムの懷の中に汝を導き給へ。

天使は彼の靈魂を接け取りて天主の尊前に獻げ給へ。▲主よ、永遠の安息を彼に與へ、絶えざる光を彼の上に照らし給へ。

主、憐み給へ。

▲キリスト、憐み給へ。

主、憐み給へ。

天に在す我等の父よ、願くは御名の尊崇れん事を、御國の格らん事を、御旨の天に行はるる如く地にも行はれん事を。▲我等の日用の糧を今日我等に與へ給へ。我等が人に赦す如く我等の罪を赦し給へ。我等を誘試に引き給はざれ、我等を惡より救ひ給へ。亞孟。

主よ、永遠の安息を彼に與へ、▲絶えざる光を彼の上に照らし給へ。

主よ、地獄の門より、▲彼の靈魂を援ひ給へ。

彼は安和に息まん。▲アメン。

主よ、我が祈禱を聽き容れ給へ。▲我が叫を尊前に到らしめ給へ。

祈願せん。主よ、世に向ひては死したれども、主に活きんため此の僕の靈魂を主に托せ奉つる。彼が肉身の弱きに因りて犯したる罪を、大いなる御哀憐もて赦し給はんことを、我等の主キリストに由りて願ひ奉つる。アメン。

右の祈禱を終りて死體を仰むけに臥さしめ、十字架を兩手に握らせ、或は唯手を拱ぬかせ、胸の上にこれを當て、傍らに燭を點し、聖水を置き、弔ひ來る者、之を死體に濺ぎて祈るべし。

75 司祭、不在の時に於ける葬式の祈禱

司祭、不在の時に於ける葬式の心得

葬式の節、信者は喪家に集り、專ら死人の爲に祈るべく、決して誤しくすべからず。

葬式の始に、先づ主禱文、天使祝詞、使徒信經各々一遍を誦へ、次に「靈魂肉身を離れんとする時の祈禱」（一六五頁）を誦ふべし。但し、出棺の時間に迫る時はその一二を略するも可なり。途中は成るべく足を揃へ、ロザリオを繰りつつ墓地に至るべし。棺を置きて後、一同に「臨終の連禱」（一六八頁）を誦へ、棺を埋むる時に當りては、連禱の次の「最終の祈禱」或は「死者の爲の祈禱」（一七七頁）を誦へて終る。

小兒の葬式の心得

七歳未滿の小兒の葬式を行ふ時は、敢へて小兒の爲に祈るを要せず、唯その靈魂に天堂の幸福を與へ給ふ天主を讃美すべし。故に喪家にて主禱文、天使祝詞、使徒信經、各々一遍を誦へて後、左の祈禱を誦ふべし。

全能、全善の天主、主は洗禮に由りて新に生れたる幼兒には自ら功績あらざるも、此の世を去る時に當りて、直に終りなき生命を與へ給ふ。我等、主の今日此の幼兒に斯く惠み給へるを信じ奉つる。願はくは終生童貞なる聖マリア、及び諸聖人の傳達に由りて此の世に於いては淸き心を以て主に事へ、天堂に於ては福者なる幼兒と共に、終りなく喜ぶを得せしめ給へ。我等の主キリストに由りて祈り奉つる。アメン。

途中は同じくロザリオを繰り、墓地に到りて左の祈禱を誦ふべし。

淸淨、潔白を嘉し給ふ全能、永遠の天主、主は此の幼兒を憐みて、彼の靈魂を天國に招き給へるに因り、我等の上にも御哀憐を垂れたまへ。願はくは、主のいと尊き苦難の功德と、終生童貞なる聖マリア、及び諸聖人の傳達により、諸聖人及び總べて主に選まれたる者と共に、天國に於いて同じく喜び樂しましめ給へ。聖父と聖靈と共に、永遠に統治し給ふ主を謹みて玆に讃美し奉つる。

76 死人の爲にする祈禱

主よ、我等今、逝去者の靈魂のために祈禱を獻げ奉つる。願はくは其の諸々の罪過を赦し給ひて、終りなき命の港に到らしめ給へ。▲アメン。

77 我に關係ある死者の爲の祈禱

主よ、我が行爲に依りて、我を裁き給ふこと勿れ。主の御前に善きことを爲したる事なければ、主の御稜威を切に願ひ奉つる。▲主よ、我が罪を消し給へ。

主よ、我が不義より悉皆く我を洗ひ、我が罪より我をきよめたまへ。▲主よ、我が罪を消し給へ。

主よ、永遠の休息を彼等に與へ給へ。▲主よ、我が罪を消し給へ。

祈願せん

罪人に赦免を與へ給ひ、總べての人の救靈を望み給ふ天主、主の哀憐を賴み奉つる。願はくは、終生童貞なる聖マリア、及び諸聖人の傳達に依りて、此の世を去りたる親、兄弟、親族、恩人に、永遠の福樂に至るを得せしめ給はんことを、我等の主キリストに因りて。▲アメン。

78 死者の爲の祈禱

注意

死者のためにロザリオを祈らんとする時は、苦痛の玄義の毎端の終り、即ち「聖母の御傳達に因りて」の次を「此の死せる信者の靈魂を救ひ給はんことを冀ふ」と代へて祈る。

又、次の祈は「通夜」と「葬禮」の時にも用ゐるを得。

一、主よ、限りなき御愛に由りて、永遠の幸福を與ふる爲に、我々人間を創造り給ひしにより、此の下僕の靈魂を憐み、御國に受けとり給へ。

主、憐み給へ。
キリスト、憐み給へ。
主、憐み給へ。

主禱文

天に在します我等の父よ、ねがはくは御名の尊まれんことを、御國の格らんことを、聖旨の天に行はるる如く地にも行はれん事を、我等の日用の糧を今日我等に與へ給へ。我等が人に赦すごとく我等の罪を赦し給へ。我等を誘試に引き給はざれ、我等を惡より救ひ給へ。アメン。

主よ、永遠の休息を彼に與へ、絶えざる光を彼の上に照らし給へ。
主よ、地獄の門より、彼の靈魂を救ひ給へ。
彼は安和に休まん。アメン。

二、主よ、彼は異る神に造られし者にあらずして、活ける眞實の神なる主に、造られし者なることを認めたまへ。其は主の他に神なく、主の御業に及ぶもの絶えてなければなり。主よ、御前に於いて彼の靈魂を悅ばせ給へ。其は彼が眞心を以て萬物の創造主を尊敬したればなり。

主、憐み給へ。其の他前の如し。

三、主よ、救世主イエズス・キリストが、我を罪より、永遠の死より救はんが爲に、哀憐を以て天降り、人となり給ひたれば、御身の愛子なる此の僕の靈魂を、善人の中に受くるを拒み給ふこと勿れ。

主、憐み給へ。其の他前の如し

四、主イエズスよ、御身が我等の罪を償ふために、苦難を受け、十字架に附けられ、死し給ひしに由りて、御哀憐を垂れて此の下僕を顧み、彼が其の罪を一心に懺悔して、赦されんと願ふを聞き入れ給へ。慈悲深き父よ、御哀憐をのみ賴む所の此の僕をして、主と全く和ぐの恩惠に潤はしめ給へ。

主、憐み給へ。其の他前の如し

五、主よ、主は嘗て「なんぢ等が、我が此のいとも小さき兄弟の一人に爲したるところは、ことゞくに我に爲ししなり」と。故に此の下僕の爲しし善業をかへりみて、之に報い給へ。

主、憐み給へ。其の他前の如し

六、主よ、主は我等に「汝、意を盡くし、力を盡くし、靈を盡くし、汝の神を愛し、又、近き者を己の如く愛せよ」と命じ給へり、是に由りて此の僕が、主を愛せんが爲に病苦を耐へ忍び、此の世の福樂を主に任せ、唯主の爲に近き者をも愛し、主の思召に從ひ、且また主を萬事に超えて愛せしに由り、限りなき無上の永福を彼の上に與へ給へ。

主、憐み給へ。其の他前の如し

祈願せん。主よ、我等今、身罷りし者の靈魂のために祈禱を捧げ奉つる。願はくは、其の諸々の罪咎を赦し給ひて、終りなき生命の港に至らしめ給へ。アメン。

79 幼きイエズスを訪ひ奉る祈禱

天主にて在します幼きイエズス、我が創造主、我が救世主にて在します主よ、我は今眞心より、謙遜と歡喜とを以て主に近づき奉つる。

天主なる幼兒イエズスよ、主の御顏は天地の歡喜にして、いと美しく、いと愛らし。天なる御父は御身を歡びて眺め、主を生み給へる聖母マリアは、恭しく御身を見、其の淨配聖ヨゼフは、謹みて御身を拜禮し給へり。又、天使は聲高らかに主を讃美し、羊飼等は主の尊前に平伏せり。嗚呼、罪人なる我の、主に近づき奉らん事はいと畏れ多し。然れど主の御哀憐に因りて、罪人なる我も目を翹げて、溢るる心の歡喜と感謝を以て、生れ給へる我が救世主を拜み奉つる。

愛らしき聖なる幼兒イエズスよ、我、何を以て、主の最大いなる御愛に酬い奉つらんや。我は貧しくして、我が心の他には何物も我に無し。然れば、貧しく、罪に汚れたる

此の心をば、今敢へて謹んで尊前に捧げ奉つるが故に、主よ、願はくは之を享け、之を潔めて主の住居と爲し給はんことを。

御恵裕けき幼兒イエズスよ、主が其のために人と成り給へる、主に造られし總べての靈魂を顧み給へ。總べての異教と異端の暗黑に在る靈魂をも照らし給へ。平和の王なるイエズスよ、全世界の人の心を愛と安和に一致せしめ給へ。天の福樂なる御獨子イエズスよ、總べての人々に主の大いなる恩寵を與へ給へ。煉獄に苦しめる靈魂を憐み、其の寂莫と艱難とを忘れ給はず、之に平和と永遠の光明を與へ給はん事を、主の聖なる心の御愛に因りて、聖母マリア、聖ヨゼフ、及び天使、諸聖人の御傳達を以て、此の御恵を偏に伏して冀ひ奉つる。アメン。

80 新年の祈禱

限りなく愛すべき天主なる御父、主の我等に與へ給ひし、過ぎし年に於ける諸々の御

恵を深く謝し奉つり、尚此の新しき年の爲に、茲に今謹んで主の御祝福を偏に乞ひ願ひ奉つる。願くは聖旨の天に行はるる如く、地にも行はれん事を、而して此の新しき年に於いては、一人と雖も主に背き奉つることなく、却つて凡ての人々の、主を愛し、主を讃美し、拜禮するに至らんことを。又、我が聖會の地の極にまで弘まり、凡ての靈魂は救拯の道へ、凡ての罪人は悔悛に導かれん事を希ひ奉つる。主よ、願はくは我が過ぎし年に犯したる凡ての罪と、其の罰とを俱に赦し給ひて、我が心を新ならしめ給へ。

此の新しき年の初穗として、我が身我が靈を尊前に捧げ奉つる。願はくは、我が心に洗禮の聖寵を新に與へ給ひて、主に事へ奉る新しき熱心を我に起さしめ給へ。尚我のみならず、我が親族、恩人、朋友にも主の御祝福を賜ひて、彼等をして主の聖旨に依賴ましめ給はんことを。我等より不幸と總べての惡、殊に罪を防ぎ給ひて、此の世の旅路を了る其の日まで、荒き此の海路を護り、遂に救拯の港へ導き給へ。また煉獄の靈魂にも御哀憐を垂れ給ひて、其の苦痛より免れしめ給はん事を偏に乞ひ願ひ奉つる。アメン。

81 御復活の祈禱

天主にて在します救世主イエズスよ、主は罪と死と地獄にも打勝ち給ひて、天の門を開き給ひぬ。主の御哀憐と限りなき御愛は、罪の深淵に陷りたる我等人類の救濟を完うし給へり。又、主は豫言者によりて曰はれしごとく、御墓より甦りて其の御教を證し、我等の信仰を動かざる迄に固うし給ひぬ。

我が救世主イエズスよ、我等いま尊前に、主の勝利、主の御復活を深く崇め奉つる。之によりて我等は罪と死より救はれ、永遠の救拯の道に導かるる事を得ぬ。何を以てか主の其の御哀憐と、最大いなる御愛に報い奉つるべき。我、感謝すべき言葉だになし。願はくは我等をして主のいと聖き御跡に倣ひ、力を盡くして諸々の罪、邪なる思、望に打克つまで戰はんとするを助け、遂に主と共に甦らされんことを。

主は我等に其の御助を約し給へり。故に我は今幼兒の如き信賴を以て、此の決心を祝

し給はん事をひたすら乞ひ願ひ奉つる。此の罪と誘惑の戰に、力と堅忍とを與へ給へ。而して此の戰によりて遂に正義の冠を享け、主の苦難と死と復活によりて、永遠の生命に入り給ひしがごとく、我等にも其の同じ道を歩ませ給はんことを。其の御助を伏して乞ひ願ひ奉つる。アメン。

82 世界の王たるキリストに對する祈禱

聖體を拜領せし者は、教皇の旨に從ひ、此の「世界の王たるキリストに對する祈禱」を一編、及び「主禱文」「天使祝詞」「榮誦」を各一編誦ふれば全贖宥を得。

主イエズス・キリスト、我は主を世界の王と崇め奉つる、造られしものは悉く主の物なれば、主の主權、稜威を我の上にも及ぼし給へ。我は今日嘗て洗禮に於いて爲したる惡魔と其の榮華と、其の業とを棄てんとの約束を新にし、且善良なる信者として生きんことを約束し、殊に聖會の權利と天主の主權に勝利あらしむる爲に、力を盡くさん事を

約束し奉つる。天主たるイエズスの聖心よ、我は總べての人々が、その心に主の聖き王位を認め、遂に主の平和の王國の、普く全地に建てらるるに至らんことを、我が拙なき祈と仕業を獻げて希ひ奉つる。アメン。

（教皇ピオ第六世御製）

83 天主の愛の連禱

無限の愛なる我が天主よ　主を愛し奉つる。
我を前に愛し給ひし我が天主よ　同
主を愛し奉つる事を我に命じ給ふ我が天主よ　同
我が天主よ、我は我が心を盡くして　同
我が天主よ、我が靈を盡くして　同
我が天主よ、我が意を盡くして　同
我が天主よ、我が力を盡くして　同

我が天主よ、我は總べての樂よりも　同
我が天主よ、我は己よりも亦我が總べての持物よりも　同
我が天主よ、我は凡ての親族よりも我が凡ての朋友よりも　同
我が天主よ、我は總べての人、總べての天使よりも　同
我が天主よ、我は天に於いても地に於いても、造られたる總べての物よりも　同
我が天主よ、主は此上なき善に在します故に　同
我が天主よ、主は限りなく愛すべきものに在します故に　同
我が天主よ、主は限りなき善に在します故に　同
我が天主よ、主は我に聖き天國の福樂を與ふる御約束をなし給はずとも　同
我が天主よ、我は地獄の罰を享くる恐なくとも　同

我が天主よ、主は我を困難、不幸に遇はせ給ふとも　主を愛し奉つる。
我が天主よ、富の中にも貧窮の中にも　同
我が天主よ、幸福の中にも不幸の中にも　同
我が天主よ、名譽の中にも侮蔑、凌辱の中にも　同
我が天主よ、快樂の中にも苦難の中にも　同
我が天主よ、壯健の時にも病氣の時にも　同
我が天主よ、我は活くるも死するも　同
我が天主よ、辰刻に於いても永遠に於いても　同
我が天主よ、諸天使、諸聖人が天國に於て主を愛し奉つる其の愛に我が愛を合はせて　同
我が天主よ、終生童貞なる聖マリアが主を愛し給ふ其の愛に我が愛を合はせて　同

我が天主よ、主が御自分を愛し給ふ其の愛に我が愛を合せて　同

祈願せん

完全にして、愛すべき凡てのものを不思義に含み給ふ我が天主よ、願はくは、造られたる物に對して、凡ての惡しき愛情、肉慾等を我が心より取除き給ひ、却つて主を愛し奉つる熱心のいと清き火を燃えしめ給へ。我をして主をのみ愛せしめ、よし又、主より他のものを愛せば、其は主のためたらしめ給へ。我をして此の世にて主を愛する熱心に燃されたる後、眞正の愛の行はるべき天國に於いては、諸聖人と共に、主を永遠に愛し奉つる事を得せしめ給へ。アメン。

附錄 死者の爲のミサの祈禱

ミサの始まる時

✝ 聖父と聖子と聖靈の御名に因りて。アメン。

最も尊き三位一の天主、今此の祭壇の上に於いて行はんとする聖祭は、主イエズス・キリストの御苦難と御死去を、絶えず我等に偲ばしめ、其の御功德を施さんが爲に、御自ら定め給ひし祭なれば、此の上もなく御心に適ひ、生ける人と死せる信者の靈魂に、御惠の豐なるものと信じ奉つる。願はくは此のミサの拜聽によりて、我等に罪を痛悔せしめ、恰もカルワリオの山にて、御身の御苦難を仰ぎ見奉つりし人々の如き心を起さしめ、彌增しに我等が信仰を篤からしめ給へ。尙、殊更我等の祈らんとする、煉獄に苦しむ死せる信者の靈魂に、妙なる甘露の妙雨を降らし、主の御光榮の中に入らしめ、早く天堂の歡喜を得しめ給はんことを希ひ奉つる。アメン。

告白の祈禱

全能の天主、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人にむかひて告白し奉つる。我は思と言葉と行爲を以て多くの罪を犯せり。これ我が過なり。我が過なり。我が最大いなる過なり。是に由りて終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ及び諸聖人に、我のため主なる我等の神に祈られんことを願ひ奉つる。

願はくは全能の天主、我等を憐み、我等の罪を赦して終なき命へ導き給へ。アメン。

願はくは全能にして慈悲なる主、我等の罪を憐み、其の赦免を與へ給へ。アメン。

入祭文を讀む時

（煉獄の靈魂の叫）「嗚呼主よ、我が主、われ深き淵より主を呼び奉つれり。願はくは我が聲を聞き、御耳を我が願の叫に傾け給へ」